

都市機能の方向性に関する調査研究

－岡山都市圏における定住促進のために－

2024年5月

一般社団法人中国経済連合会
公益財団法人中国地域創造研究センター
中国電力株式会社

目次

| | |
|--|----|
| 1. 調査の概要 | 1 |
| (1) 調査の背景・目的 | 1 |
| (2) 対象圏域 | 1 |
| (3) 調査の視点 | 3 |
| (4) 調査の体制 | 3 |
| 2. 調査のコンセプト | 4 |
| (1) 定住・移住に関わる「希望の構造化」 | 4 |
| (2) 岡山都市圏の定住・移住に関わる「希望」の傾向 | 7 |
| (3) 地元志向に影響を及ぼす要因 | 9 |
| 3. 調査の方法 | 14 |
| (1) 既存資料調査 | 14 |
| (2) 有識者ヒアリング | 14 |
| (3) アンケート調査 | 14 |
| 4. 現状分析 | 15 |
| (1) 人口動態 | 15 |
| (2) 地域幸福度（Well-Being）指標 | 17 |
| (3) 岡山都市圏の特徴（有識者ヒアリングより） | 20 |
| (4) 定住志向に影響する地域特性 | 21 |
| 5. 定住促進のための方策検討 | 40 |
| 方向性 1 暮らしの豊かさを感じられるリバブルなまち | 40 |
| 方向性 2 生活圏がリアル・デジタルなネットワークでつながるまち | 44 |
| 方向性 3 地域に根付く文化を誇れるまち | 46 |
| 方向性 4 交流や自己実現の機会に恵まれたアクティブなまち | 49 |

1. 調査の概要

(1) 調査の背景・目的

新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大は、テレワークやデジタル化の進展など経済・社会全体のあり方や人々の行動様式・意識に対して大きな影響を与えている。

国土交通省においては、2020年に公表した「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性」において、コンパクト・プラス・ネットワークの推進等に取り組んでいく大きな方向性には変わりはないとする一方で、都市の持つ集積メリットを活かしつつ、新型コロナ危機を契機に生じた変化に対応していく必要があるとしており、ポストコロナの時代を見据えた新しい都市機能のあり方が求められている。

また、2023年5月に閣議決定された新たな国土形成計画（全国計画）では、コロナ禍による生活・経済の変化やデジタル化の進展などを踏まえた、令和の新しい国土づくりの方向性が示されており、「シームレスな拠点連結型国土」の形成に向けた重点テーマとして、「デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成」が掲げられている。

こうした中、少子化・高齢化や人口減少など深刻な社会課題が全国に先駆けて進行する中国地域において地方創生を強力に推進するためには、人口ダム効果が期待できる拠点都市を中心とした都市圏における取組が重要であり、こうした社会環境の変化や国の動向を踏まえた、ポストコロナ時代にふさわしい都市圏形成について検討が必要と考えられる。

ついては、今後の中国地域において活性化を主導すると考えられる主要都市圏として、2022年度の広島広域都市圏に続き、2023年度は岡山都市圏を選定し、圏域の地域特性を踏まえた発展の方向性と具体的な取組について検討する。

(2) 対象圏域

本調査の対象圏域は岡山都市圏※とする。

※通勤圏より設定。岡山市への通勤交流率が第1位かつ10%以上となる周辺市町（玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町）と岡山市の計7市町を岡山都市圏と定義。

通勤交流率＝

$$\frac{\text{A市町村からB市町村への通勤者数} + \text{B市町村からA市町村への通勤者数}}{\text{A市町村から他市町村への通勤者数} + \text{他市町村からA市町村への通勤者数}}$$



図1 岡山都市圏

岡山都市圏は、かつての地方行政区分である令制国の1つ「備前国」の範囲と重なる。県の南東部に位置し、圏域北部には吉備高原、南部には岡山平野が広がっており、それらを旭川、吉井川といった河川が貫流して瀬戸内海に注いでいる。都市圏の面積は約1,900 km²（岡山県の面積の26.7%、令和6年全国都道府県市区町村別面積調）で、現在の人口は約91.7万人（岡山県の人口の48.5%、令和2年国勢調査）となっている。

現在の産業構造としては、卸売業・小売業、医療・福祉、製造業の事業従事者数が多く、建設業、運輸業・郵便業などの特化係数（純付加価値額）がやや高い傾向にある。農林水産業では、主に米や麦、ナス、ニラ、桃、ブドウ、牛、牡蠣、養殖のり等が生産されている。

観光資源としては、岡山城や岡山後楽園、造山古墳、吉備津神社、旧閑谷学校といった数多くの文化財・史跡、日生諸島や王子が岳、犬島、牛窓といった温暖な気候に恵まれた自然豊かな観光地、さらには備前焼や刀剣といった特色ある工芸品などがある。

交通インフラとしては、岡山空港や岡山港、宇野港が所在するほか、鉄道では山陽新幹線や山陽本線、瀬戸大橋線、赤穂線、津山線等、道路では東西に山陽自動車道、国道2号、南北に岡山自動車道、美作岡山道路等が整備され、中国・四国地域における広域交通網のクロスポイントとなっている。



図2 岡山都市圏

(3) 調査の視点

岡山県及び岡山都市圏では、近年、人口の転出傾向が続いており、岡山都市圏の人口を維持していくためには、拠点都市である岡山市が人口のダム効果を発揮する必要がある、そのための定住促進が求められている。

このため、岡山都市圏における定住・移住に関する実態や要因を分析し、定住促進のために岡山市に求められる都市機能や具体的な方策について、岡山市に対する提言としてとりまとめる。

(4) 調査の体制

調査の体制は下図のとおりであり、事務局において調査・分析、とりまとめを行い、岡山都市圏のまちづくりに精通する有識者からの意見聴取等を行った。

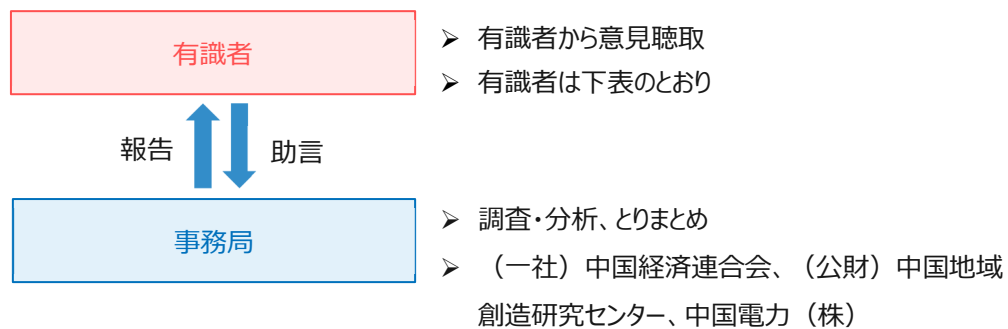


図3 調査の体制

表1 有識者

| 氏名 | 所属 |
|-------|--------------------------|
| 氏原 岳人 | 岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域 准教授 |
| 森脇 大輔 | 株式会社日本政策投資銀行岡山事務所 所長 |
| 若林 昭吾 | 岡山商工会議所まちづくり・都市交通委員会 委員長 |

2. 調査のコンセプト

(1) 定住・移住に関わる「希望の構造化」

- 公益財団法人中国地域創造研究センターと中国電力株式会社が作成した中国地域白書 2023「人々の希望と地域選択－中国地域の次世代のために－」（以下、「白書 2023」）では、「定住と移住」をテーマに掲げ、人々の「希望の形成と実現」の観点から定住・移住施策にアプローチする方法論を提示している。
- 白書 2023 では、定住・移住を「人々が希望を実現する手段」として捉え、人々の希望と地域との関係について「人々の希望は地域との関わりの中で形成され、実現される」と仮説を設定し、希望の形成と実現に対して地域施策としてアプローチする方法を検討することを目的としている。
- 効果的な定住・移住促進策の検討のため、大学等進学、就業、結婚等の希望と地域選択の関係把握、それらに影響を及ぼす地域特性等の要因分析を行っているほか、定住・移住に関わる国、自治体の政策動向や先進事例を整理している。

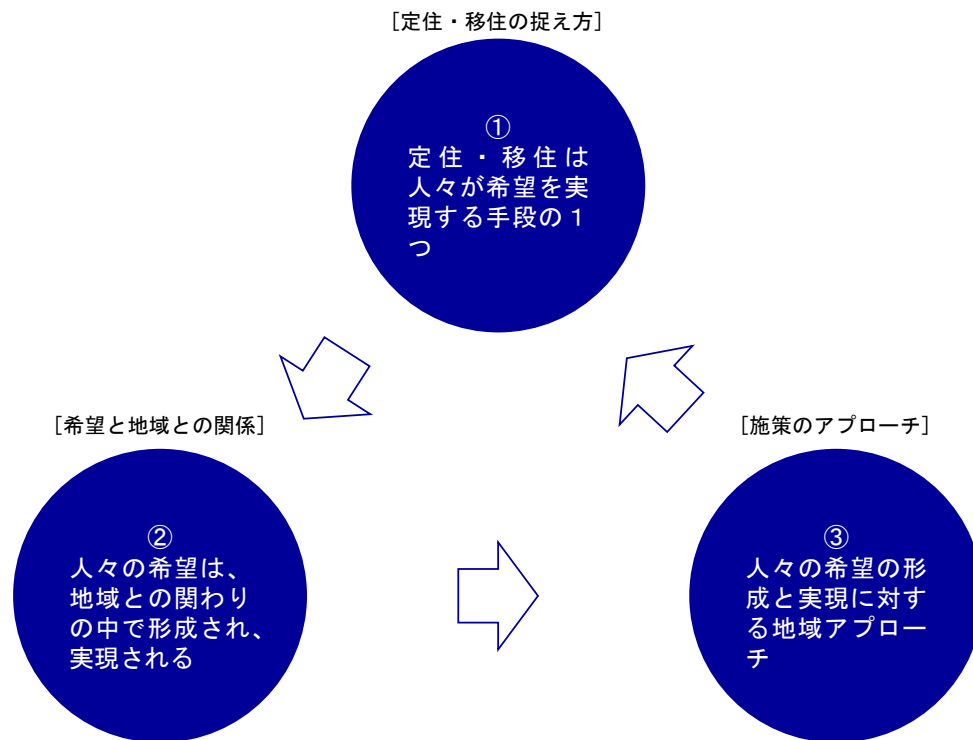


図4 白書 2023 の問題意識の組み立て

- 白書 2023 では、「人々の希望は地域との関わりの中で形成され、実現される」という仮説の検証等のため、中国地域および大都市圏に居住している中国地域出身者約 5,800 名（20 歳から 49 歳の男女）を対象に大規模意識調査を実施し、人々の地域選択（定住・移住）における「希望」や「実現」について定量評価を試みている。
- 大規模意識調査の分析では、大学等進学、就業、結婚について、「ライフステージの選択が地域選択を生じさせる者」をタイプ A、「地域選択の後にライフステージの選択が生じる者」をタイプ B、「ライフステージの選択と地域選択が中間的・中立的な者」をタイプ C として、「ライフステージの選択と地域選択との関係」で回答者の希望を区分する、定住・移住に関わる「希望の構造化」分析を行っている。
- この結果、中国地域全体の一般的傾向として、大学等進学、就業、結婚における「ライフステージの選択と地域選択との関係」では、「進みたい大学」「就業したい仕事」「結婚したい相手」といった希望の客体選択を重視する者（タイプ A）よりも、「地元になりたい」「地元から出たい」という地域選択を重視する者（タイプ B）の割合が多いことが明らかとなっている。

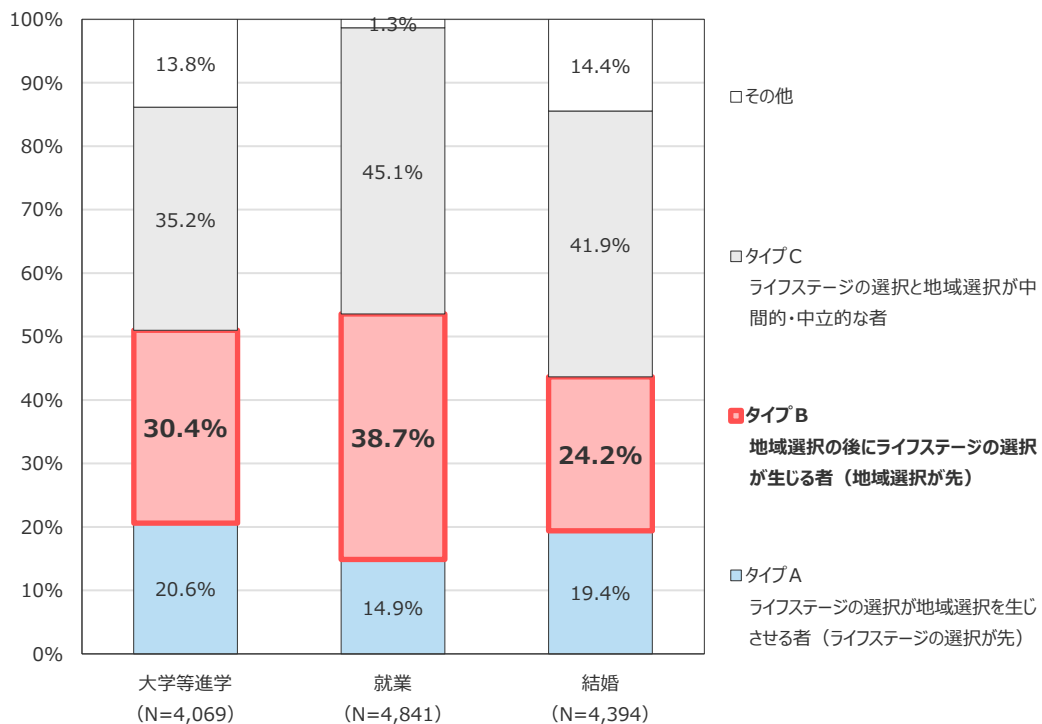


図 5 ライフステージの選択と地域選択の順序による意識調査の回答者の希望のタイプ分け（定住・移住に関わる「希望の構造化」）
（上記の図は中国地域全体での結果）

- 施策形成につながるファクトファインディングを重視する白書 2023 では、人々の希望を「地域選択の希望（表側）」と「希望の理由（表頭）」を用いてセグメント化するモザイク図を作成している。
- モザイク図はマリメッコチャートともいい、クロス集計表を積み上げグラフに表したものである。横幅は表側の項目の度数の比になっている。図中の四角形（セル）の面積（数値）が全体を 100 とした時に占める割合になることから、各セグメントのサイズを把握することができる。
- これにより、「規模が大きい効果的な施策のターゲット」を検討することが可能になり、例えば、表側のある項目を効果的に増やすためには、どれくらいの規模を持つセルからのセルへの移行を図れば効果的かといった、施策の戦略立てを考えることができる。

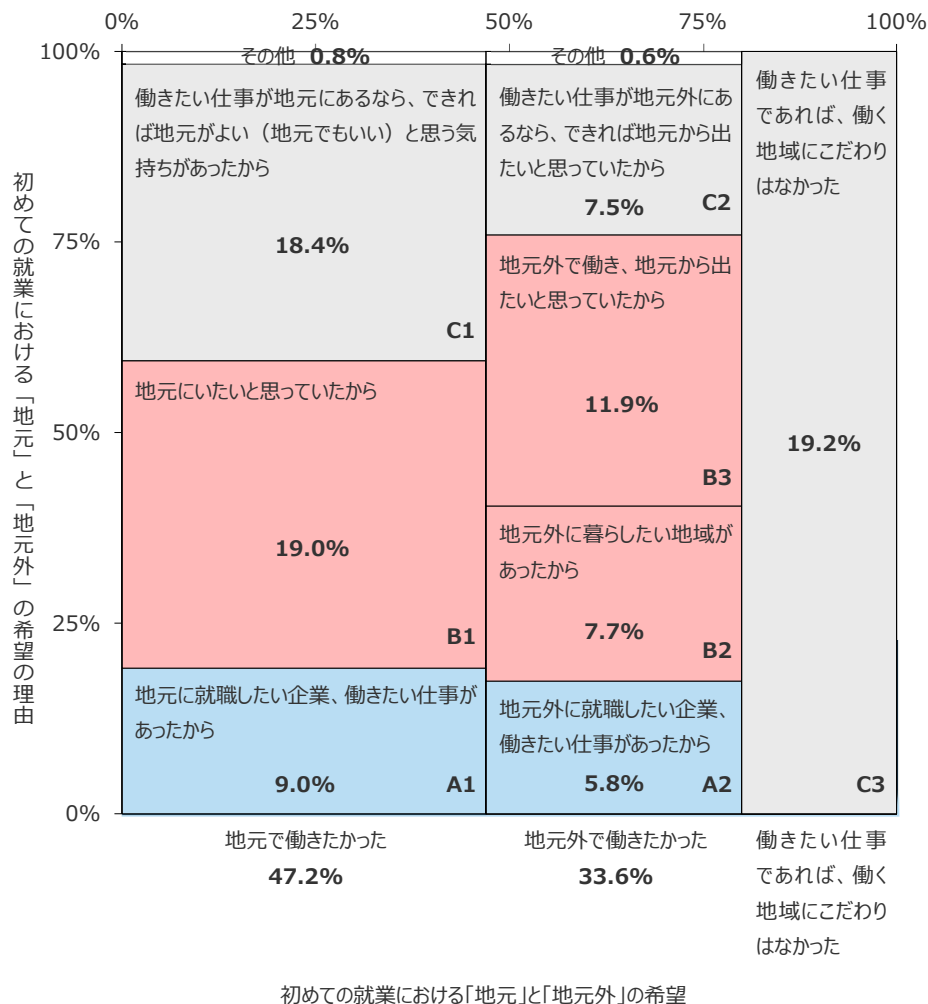


図6 初めての就業における「地元」と「地元外」の希望と理由（モザイク図）
（就業経験者および就業希望者、中国地域出身者、N=4,841）

(2) 岡山都市圏の定住・移住に関わる「希望」の傾向

- 白書 2023 の意識調査をもとに、岡山都市圏出身者のみを対象とした「希望の構造化」を行うと、「大学等進学、就業、結婚のいずれにおいても、希望の客体選択を重視する者（タイプ A）よりも、地域選択を重視する者（タイプ B）の割合が多い」という、中国地域全体と同様の結果が得られる。
- モザイク図を見たとき、定住促進を図る上でいくつかの戦略（どのセルからどのセルへの移行を図るか）が考えられるが、本調査では、タイプ B のうち「地元外志向者（B2・B3）」を「地元志向者（B1）」とすることで、定住促進を図るという目標を設定し、岡山都市圏における地元志向の構造を明らかにし、定住促進に向けた施策を検討する。

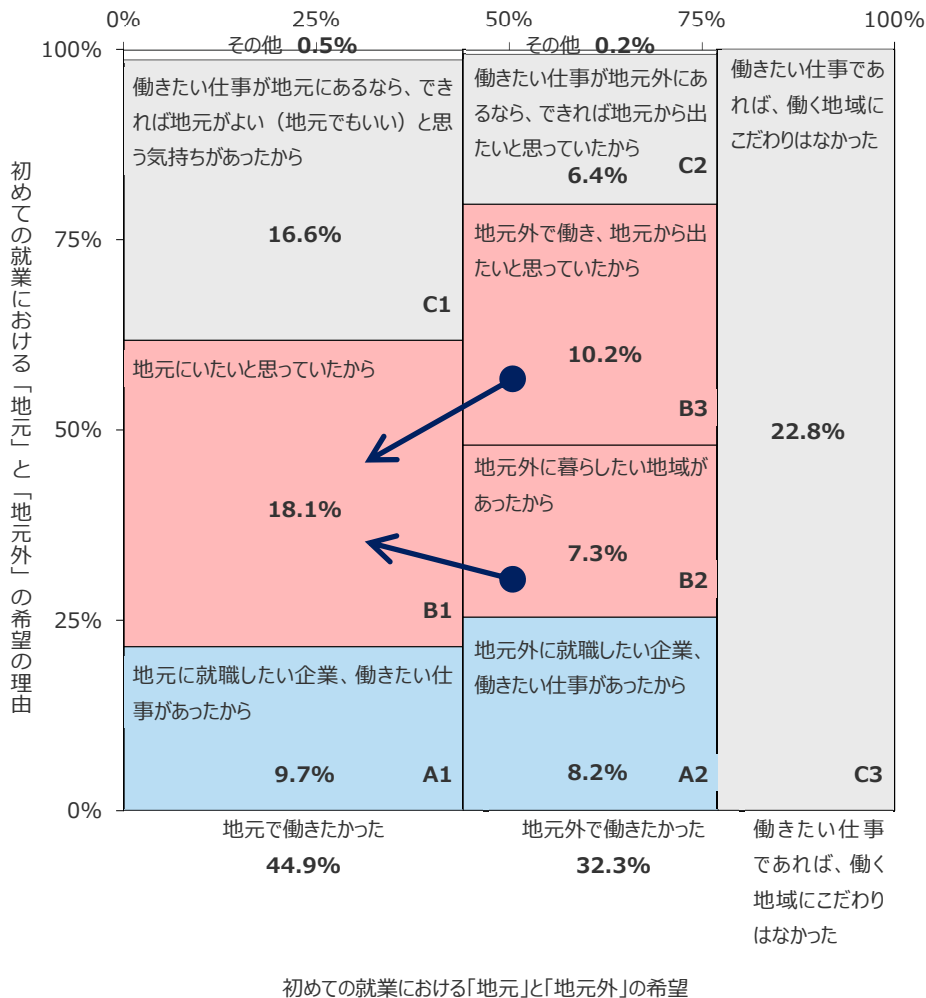


図7 初めての就業における「地元」と「地元外」の希望と理由（モザイク図）
（就業経験者および就業希望者、岡山都市圏出身者、N=548）

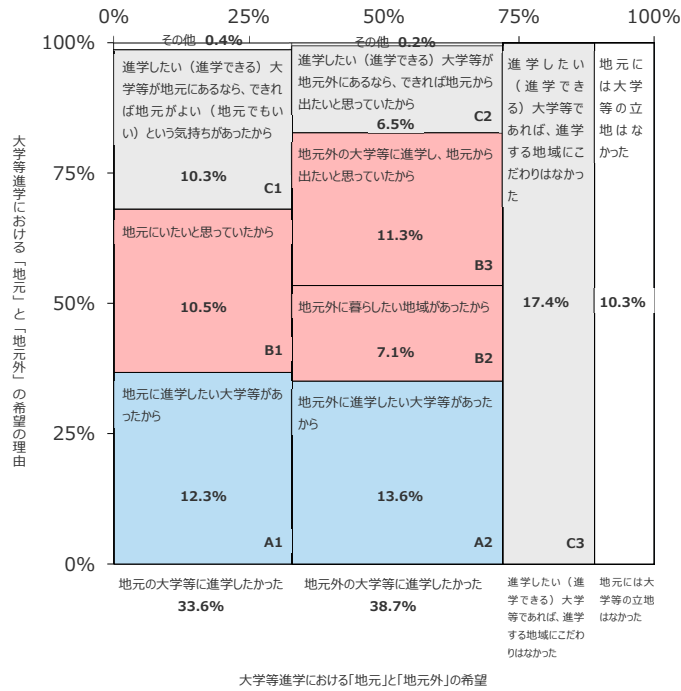


図8 大学等進学における「地元」と「地元外」の希望と理由 (モザイク図)
(大学等進学者および進学希望者、岡山都市圏出身者、N=493)

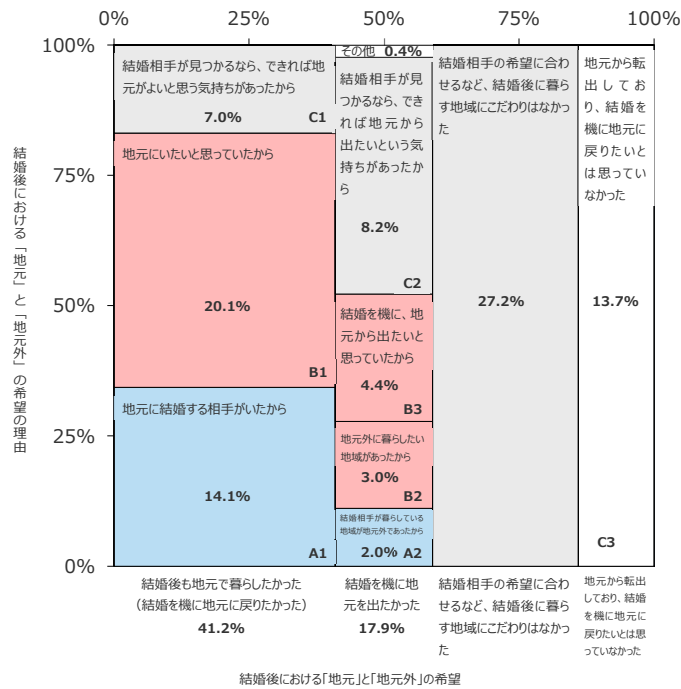


図9 結婚後における「地元」と「地元外」の希望と理由 (モザイク図)
(結婚経験者および結婚希望者、岡山都市圏出身者、N=503)

(3) 地元志向に影響を及ぼす要因

① 中国地域の地元志向に関する一般的傾向

- 白書 2023 では、地域の地元志向に対して影響を及ぼす要因として、「居心地のよさ」「自己実現性」「自分らしさ」※1をまとめた指標である「地元との関係性※2」や「生活利便性」に対する評価が抽出されたことが、中国地域の一般的傾向として示されている。
- また、「地元との関係性」の背後には、社会経済特性※3（経済力・自然とゆとり・社会関係資本・伝統・わくわく感）に対する評価が影響を与えていることが示されている。

※1「居心地のよさ」「自己実現性」「自分らしさ」は、地元の人々との人間関係、地元の風景・文化・産業に対する感じ方、地元と自分自身との共通点など 18 の質問項目の回答結果から因子分析によって抽出された因子である。

※2「地元との関係性」は、「居心地のよさ」「自己実現性」「自分らしさ」をまとめた指標であり、「居心地のよさ」「自己実現性」「自分らしさ」の回答者の因子得点を主成分分析によって合成したもの（第1主成分）である。

※3 社会経済特性は、健康・医療、買い物・飲食、伝統・歴史、支援、住宅、わくわくする刺激、芸術・文化、デジタル技術、成長性・にぎわい、地域・社会課題に対する協調など 40 の質問項目の回答結果から因子分析によって抽出された因子である。

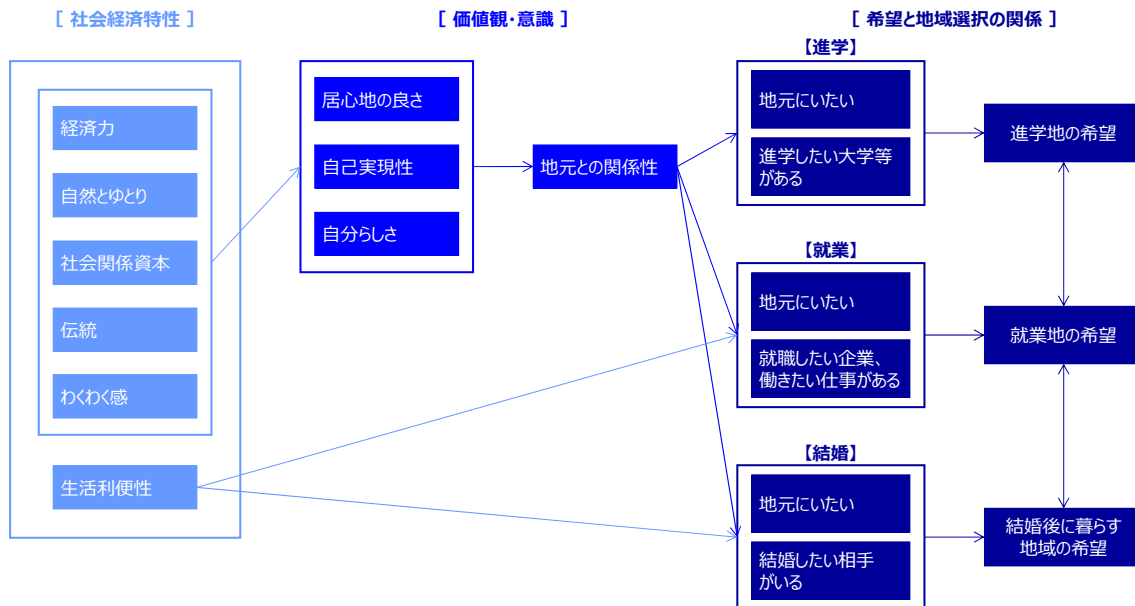


図 10 希望の構造に影響を及ぼす要因のフロー（中国地域の一般的傾向）

② 岡山都市圏における地元志向の形成要因

- 白書 2023 では、岡山都市圏は他地域と比べ、「生活利便性」のスコアは比較的高いものの、「地元との関係性」のスコアがかなり低いことが示されている。

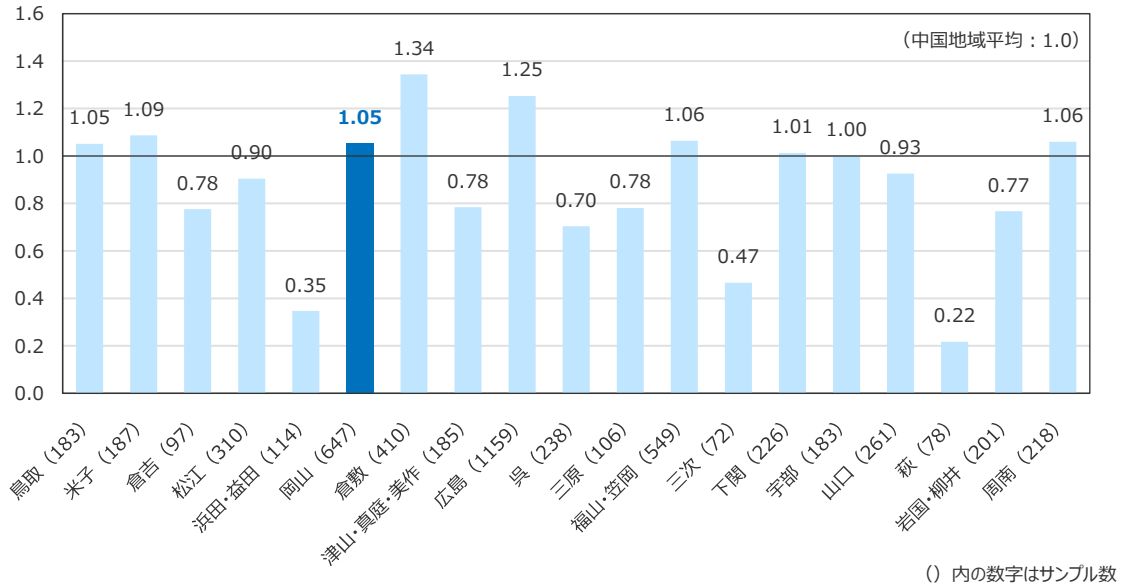


図 11 地域別の「生活利便性」の評価

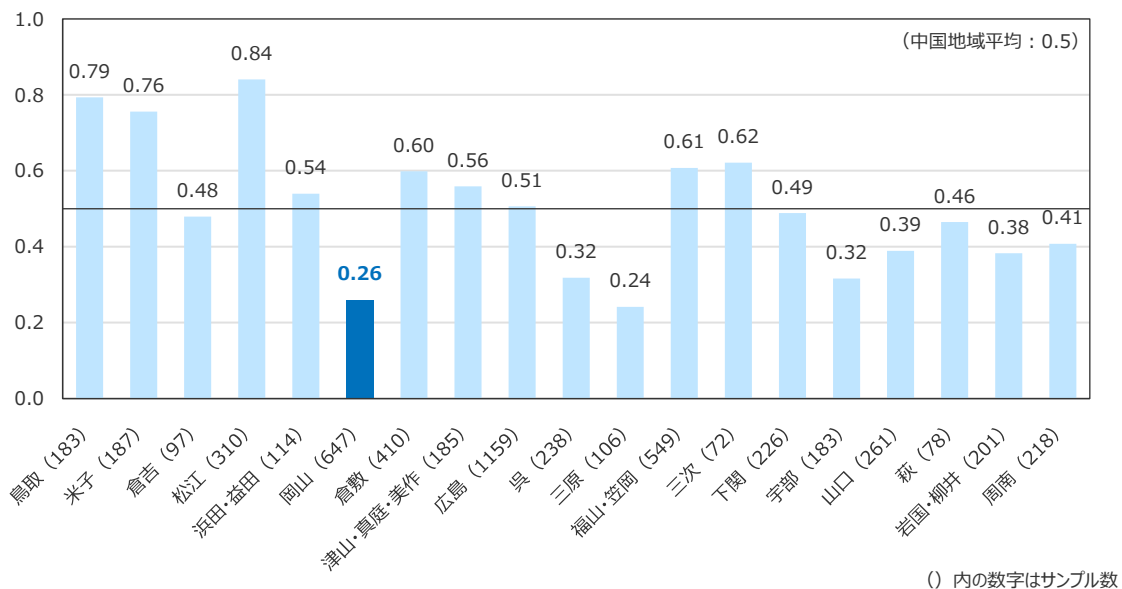


図 12 地域別の「地元との関係性」の評価

- また、地元との関係性を構成する「居心地の良さ」「自己実現性」「自分らしさ」のいずれも中国地域平均を大きく下回るとともに、地元との関係性に影響を及ぼす地元の「社会経済特性」に対する評価も全項目において中国地域平均を下回っていることが示されている。

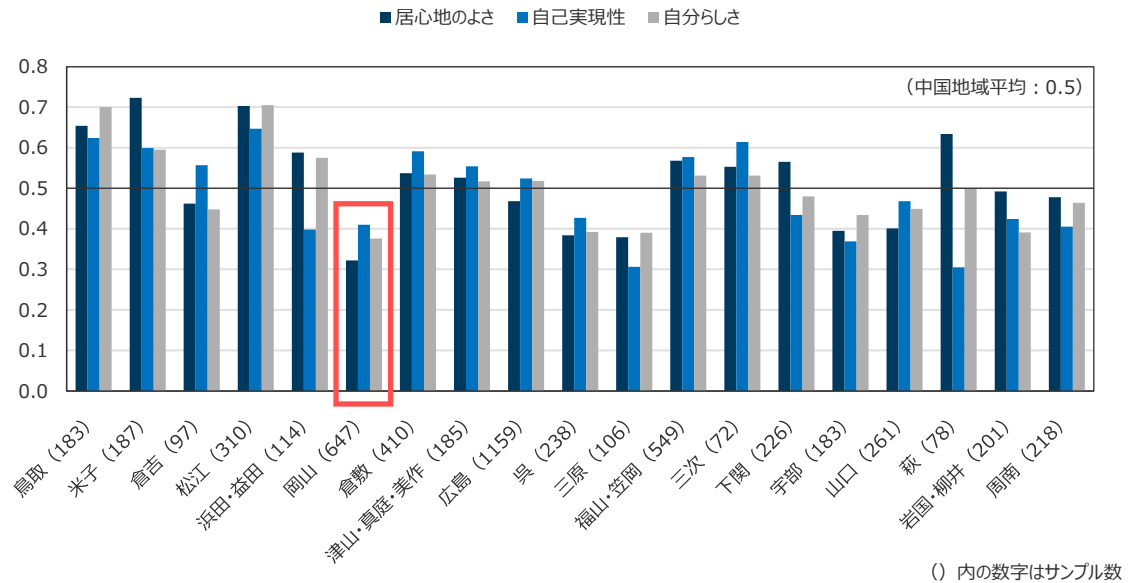


図 13 地域別の「居心地の良さ」「自己実現性」「自分らしさ」の評価

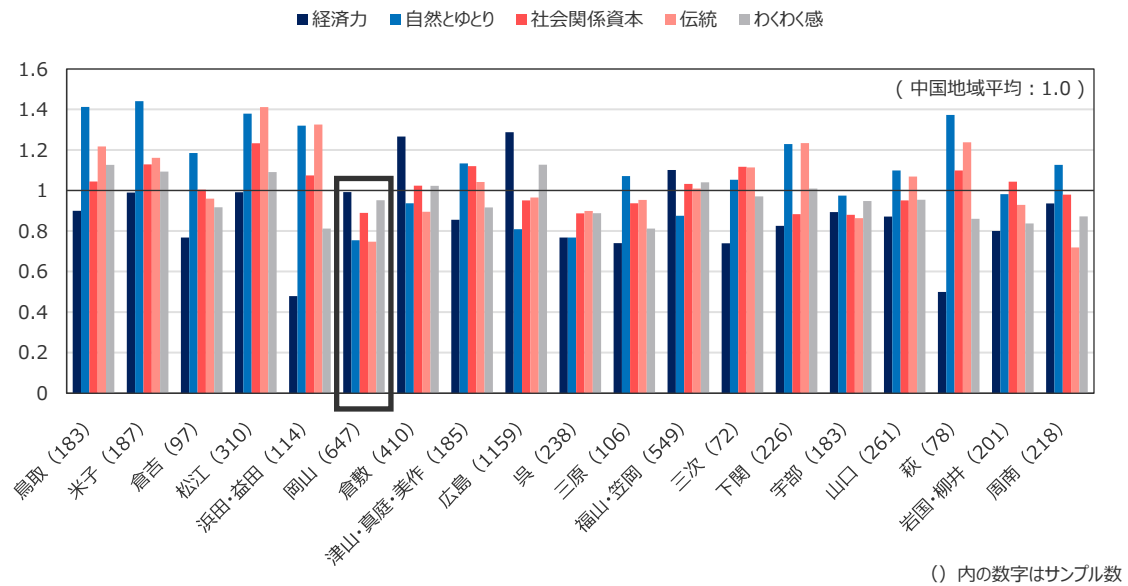


図 14 地域別の「社会経済特性」の評価

- 一方で、岡山都市圏の地元希望者の割合はそれほど低くなく、意識調査から算出された定住率も比較的高いことから、岡山都市圏では、「生活利便性」の評価が高いことが、地元志向および定住率の高さに影響していることが考えられる。
- これらの傾向より、岡山都市圏においては、引き続き「生活利便性」を高めつつも、他地域と比べ低い「地元との関係性」を高めることが定住促進に有効と考えられる。

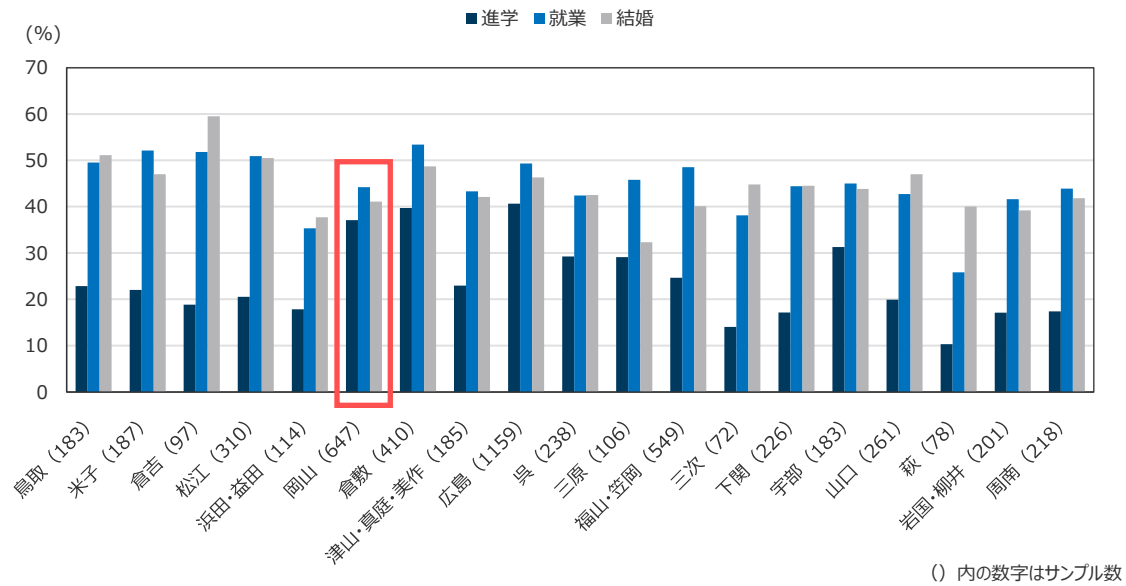


図 15 地域別の「地元希望者」の割合

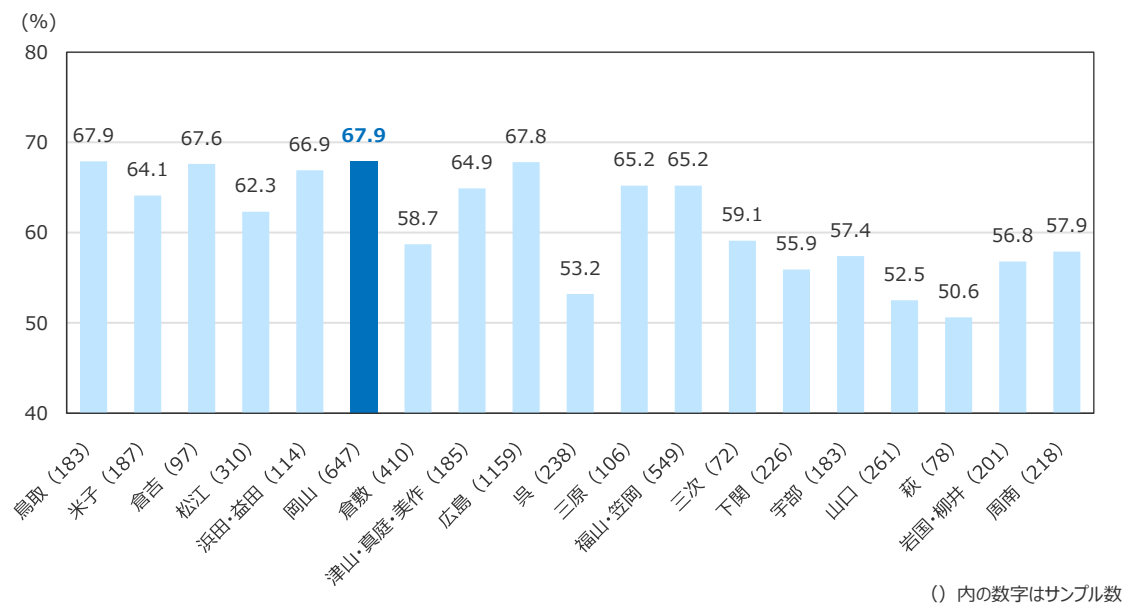
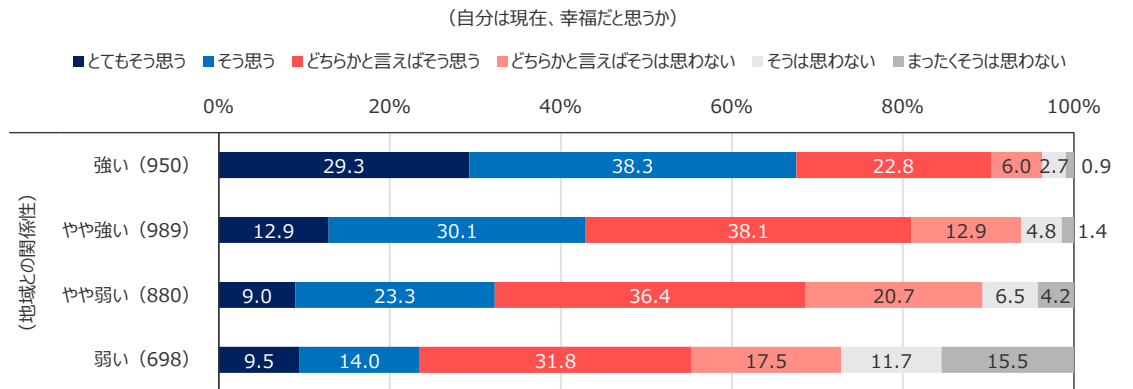


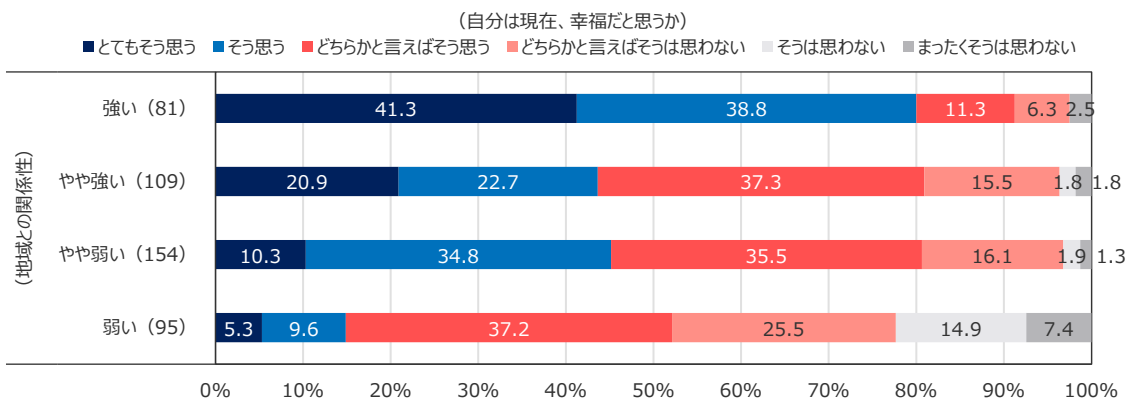
図 16 意識調査における地域別の「定住率」
(意識調査において出身地と現住地が一致している者の割合)

③ 地元との関係性とウェルビーイング

- 近年、国や自治体において、人が「身体的・精神的・社会的に良好な状態であること」を指す「ウェルビーイング」が注目されているが、白書 2023 の意識調査では、「自分は現在、幸福だと思うか」という、直接的に「ウェルビーイング」を評価する設問が設けられている。
- この問いの回答を評価項目、地元定住者の「地元との関係性」を分析軸にしてクロス集計を行うと、両者の間には関連があることが示されている。
- 地元定住者において「地元との関係性」が強い人ほど「ウェルビーイング」な状態にあるという傾向がみられることから、地元住民のウェルビーイングを高めることは、それ自体が価値を持つとともに、定住促進の効果を有していると考えられる。
- これらの傾向より、本調査では、岡山都市圏では「ウェルビーイングを高めることが定住促進に有効」という仮説を設定し、ウェルビーイングを高めるために必要な施策を検討する。



() 内の数字はサンプル数



() 内の数字はサンプル数

図 17 「地元との関係性」とウェルビーイングとの関係
(上：中国地域出身・居住者、下：岡山都市圏出身・居住者)

3. 調査の方法

(1) 既存資料調査

岡山都市圏における転入・転出の状況や地域幸福度（Well-Being）指標について、統計資料をもとに把握・整理した。

(2) 有識者ヒアリング

岡山都市圏のまちづくりに精通する有識者へのヒアリングを実施し、調査内容や岡山都市圏の現状・課題等について助言を頂いた。

表2 有識者ヒアリングの実施概要

| | |
|------|--|
| 調査時期 | 2023年6・7・11月、2024年3月 |
| 調査項目 | 岡山都市圏の特徴（都市圏のイメージ、都市機能の整備など） アンケート調査や提言に向けた留意点 など |

(3) アンケート調査

「ウェルビーイング」を高めるためにどのような施策が有効かを検証するため、岡山都市圏出身者および居住者を対象に、岡山都市圏の地域特性の評価を尋ねるアンケート調査を実施した。

また、岡山都市圏と同規模で転出超過が比較的少ない熊本都市圏*の居住者にも同じ内容の調査を実施し、ベンチマークとした。

*通勤圏より設定した、熊本市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、合志市、美里町、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町の14市町村。

表3 アンケート調査の実施概要

| | |
|-----------|--|
| 調査時期 | 2024年2月 |
| 調査方法 | インターネット調査 |
| 調査項目 | ①都市圏の暮らしの幸福度・満足度、定住意向などについて ②都市圏のイメージ、都市圏での経験などについて |
| 調査対象・回収件数 | 合計回収数：1,219件（下記の出身地・居住地の20～40代男女） A1 岡山都市圏出身・岡山都市圏在住者〔岡山都市圏居住者〕：612件 A2 岡山都市圏出身・大都市圏等在住者〔大都市圏等居住者〕：103件 A3 大都市圏等出身・岡山都市圏在住者〔大都市圏等出身者〕：103件 B 熊本都市圏出身・熊本都市圏在住者〔熊本都市圏居住者〕：401件 |

4. 現状分析

(1) 人口動態

① 岡山県の転入超過の状況

- 岡山県の2022年の転入超過（日本人）の状況をみると、転出超過となっており、近年は転出超過が拡大傾向にある。

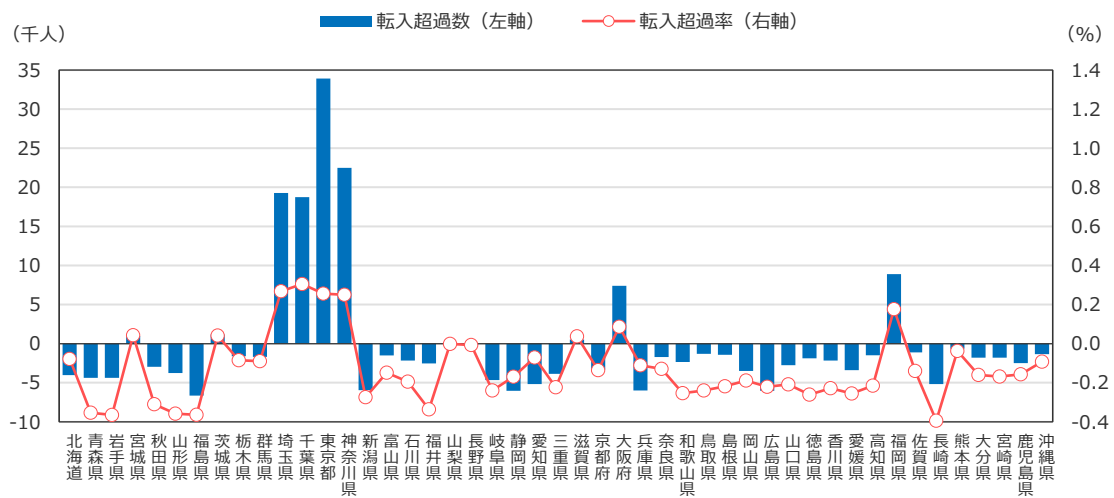


図 18 都道府県別の転入超過数と転入超過率（日本人、2022年）

（資料）総務省：住民基本台帳人口移動報告、総務省：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

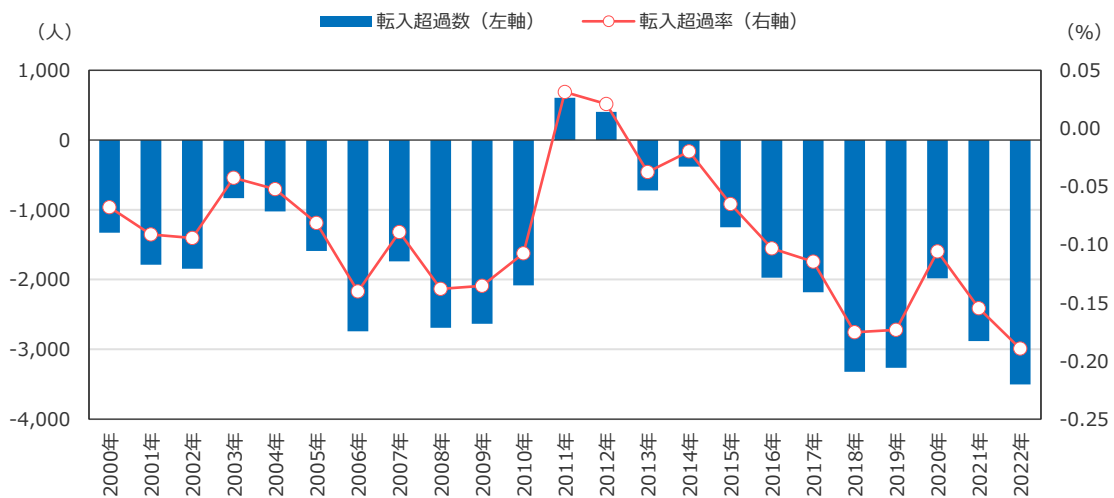


図 19 岡山県の転入超過数と転入超過率の推移（日本人）

（資料）総務省：住民基本台帳人口移動報告、総務省：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

② 岡山都市圏の転入超過の状況

- 岡山都市圏の転入超過の推移（日本人）をみると、以前は拠点都市となる岡山市が岡山市以外市町の転出超過を補っていたが、近年は岡山市でも転出超過の傾向がみえつつあり、岡山都市圏全体として転出超過が拡大傾向にある。
- 岡山市の2022年の転入超過状況（日本人）をみると、岡山都市圏及び岡山県に対しては転入超過であるが、東京圏や大阪圏に対して大きな転出超過であり、岡山市全体をみても転出超過（△743）となっている。

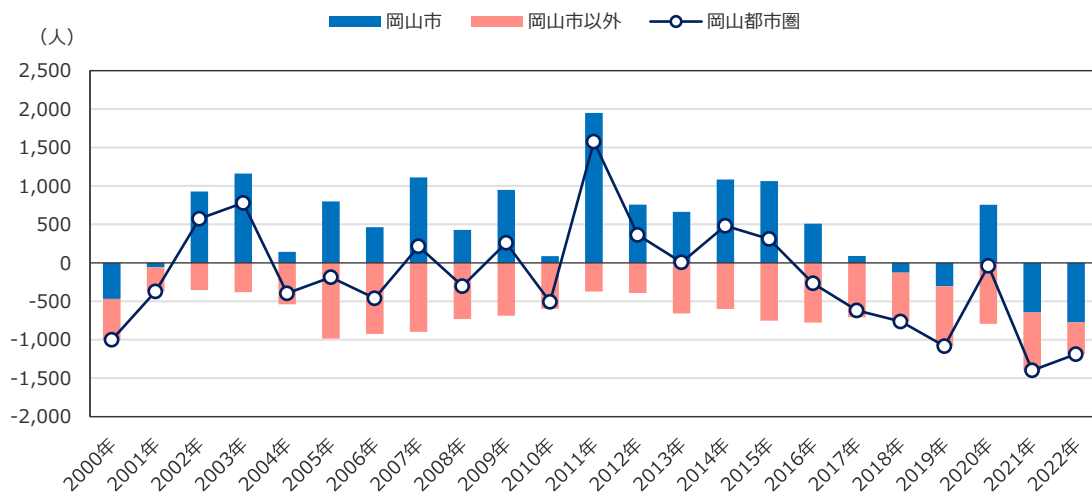


図 20 岡山都市圏の転入超過数の推移（日本人）

（資料）総務省：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

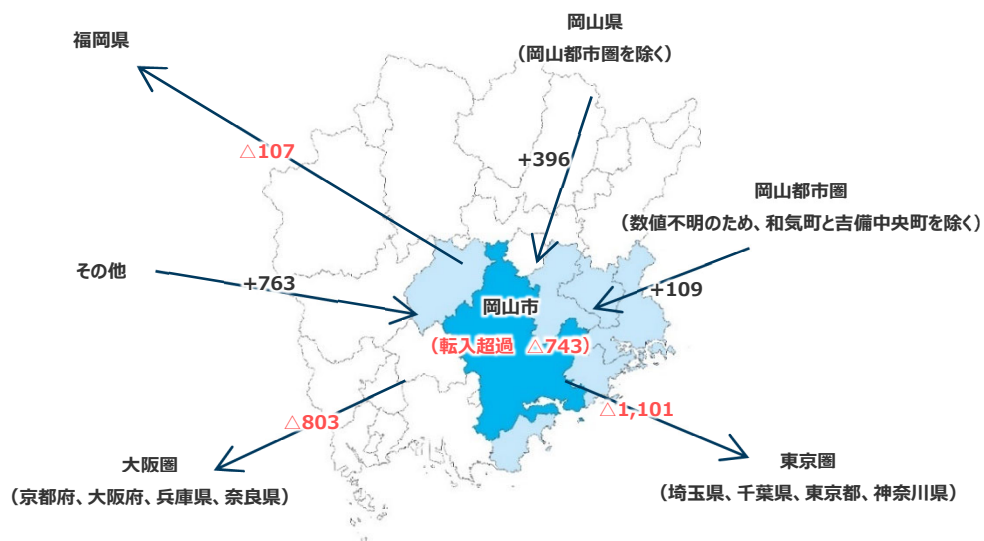


図 21 岡山市の転入超過数（日本人、2022年）

（資料）総務省：住民基本台帳人口移動報告

(2) 地域幸福度 (Well-Being) 指標

① 総合指標 (主観指標) について

- デジタル田園都市国家構想における地域幸福度 (Well-Being) 指標について、岡山市の総合指標 (主観指標) をみると、いずれの指標においても 5～8 点の回答割合が多く、比較的高い。
- 岡山市の総合指標 (主観指標) を年齢別にみると、いずれの指標においても年齢が若いほど評価が低い傾向にある。

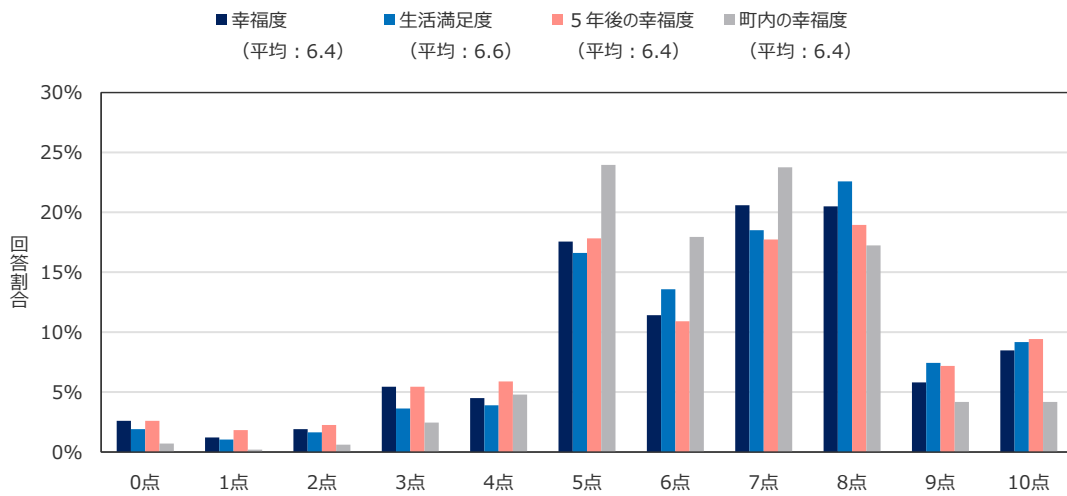


図 22 岡山市の総合指標の評価 (男女計、全年代)

(資料) 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度 (Well-Being) 指標」

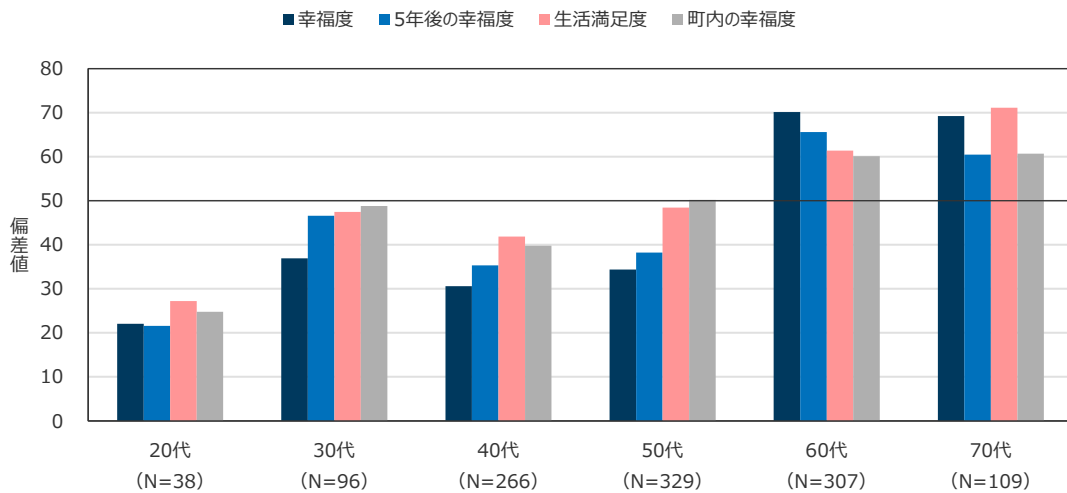


図 23 岡山市の総合指標の評価 (男女計、年代別)

(資料) 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度 (Well-Being) 指標」

② カテゴリー別指標（主観）について

- 岡山市のカテゴリー別の幸福度との相関係数と主観評価（偏差値）の関係をみると、「健康状態」「自己効力感」「住宅環境」「地域とのつながり」「文化・芸術」「公共空間」などの評価が幸福度に影響を及ぼしていると考えられる。
- 岡山市のカテゴリー別の生活満足度との相関係数と主観評価（偏差値）の関係をみると、「公共空間」「地域とのつながり」「文化・芸術」「住宅環境」などの評価が生活満足度に影響を及ぼしていると考えられる。
- 岡山市のカテゴリー別の幸福度との相関係数と生活満足度との相関係数は関連しており、「健康状態」「自己効力感」「住宅環境」「地域とのつながり」「文化・芸術」「公共空間」といったカテゴリーの評価を向上させることは、幸福度、生活満足度の両者を高めることにつながる可能性がある。

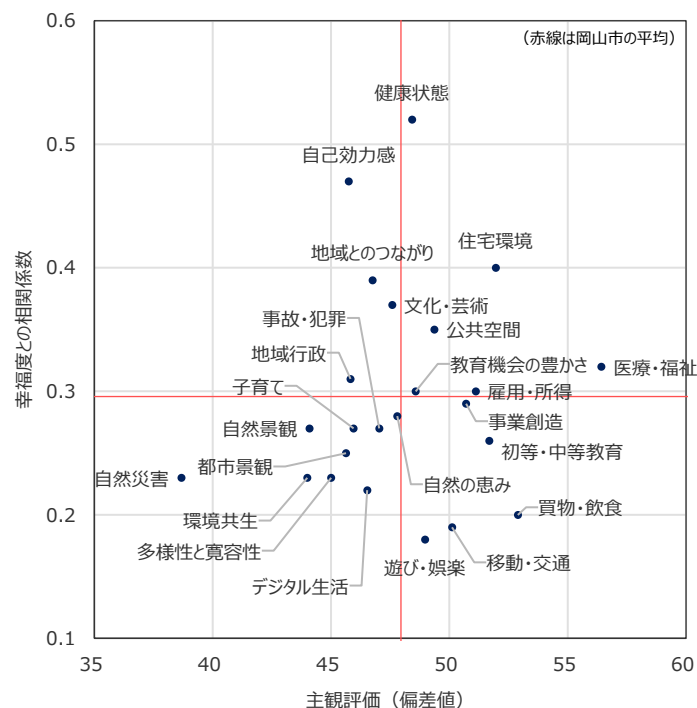


図 24 カテゴリー別の「幸福度との相関係数×主観評価」（岡山市、男女計、全年代）

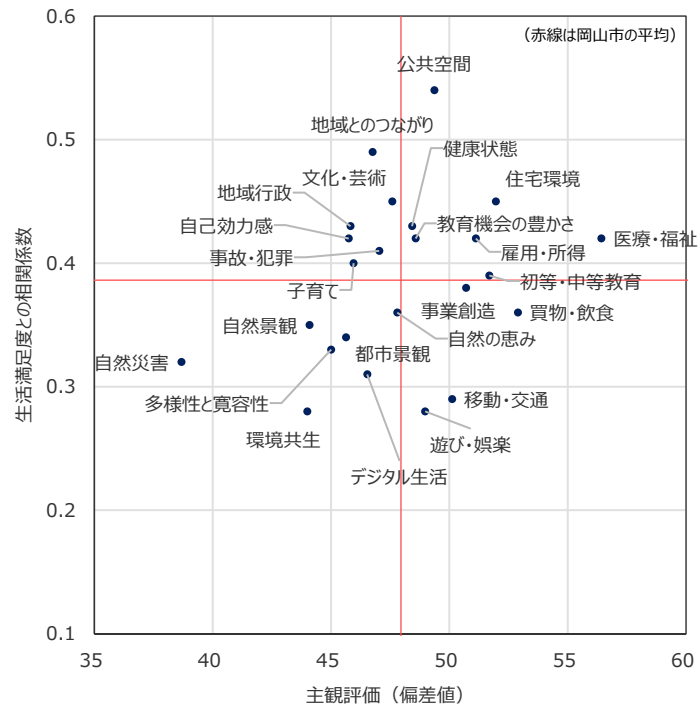


図 25 カテゴリー別の「生活満足度との相関係数×主観評価」(岡山市、男女計、全年代)

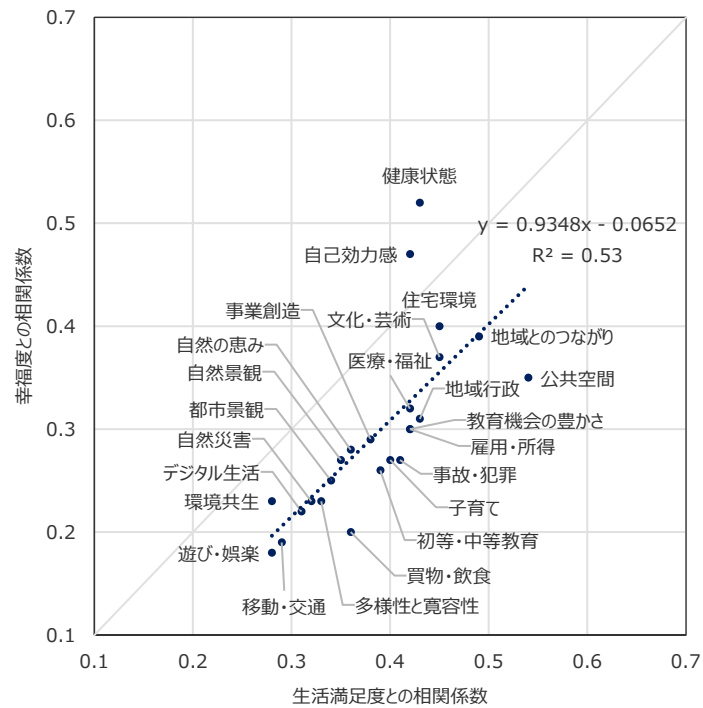


図 26 カテゴリー別の「幸福度との相関係数×生活満足度との相関係数」(岡山市、男女計、全年代)

(3) 岡山都市圏の特徴（有識者ヒアリングより）

ヒアリング調査により得られた主な意見は以下の通り。

① 岡山の人口問題等について

- 特徴のない都市としての認識、ずっと暮らしている人の評価の低さが、岡山都市圏の「地元との関係性」の低さにつながっている可能性がある。

【主な意見】

- 岡山でも人口流出が著しい。一方、岡山市の都心においては人が増えている。
- 岡山市は都会過ぎず、田舎でもない。特に、ずっと暮らしている人は都会とは思っておらず、特徴がない都市として認識されている可能性がある。
- ずっと暮らしている人は「良さ」に気づいていない可能性がある。
- 岡山の人には謙虚という印象がある。また、強い希望を持っていない人や、何となくの慣性力が働いてずっと住んでいるという人が多い可能性も考えられる。
- 岡山大学にはサークルなどを通じて地域行事に参加している学生もいる。こうした何かしらのつながりを持つことが地元との関係性に影響し、Uターンにつながるかもしれない。つなぎとめる何かがあることが重要な可能性がある。

② 岡山のまちづくり等について

- 岡山市は住みやすいまちだが、その評価をさらに高めるには公共交通が重要。
- 歴史・文化や芸術などの地域資源を活かしたまちづくりが考えられる。

【主な意見】

- 岡山市はコンパクトで、住みやすい都市である。
- 過去の調査で、岡山市の住みやすさに対する評価と都市機能の関係について、移動（公共交通の整備）と施設立地で住みやすさの評価がほぼ決まることがわかっている。
- 公共交通は住む場所による利便が異なるため整備すると住みやすさの評価が高まるが、どこに住んでも車が利用しやすい岡山市では、車の利便による評価は変わらない。
- 公共交通整備の遅れの課題があり、持続可能な公共交通が必要。
- サッカー、バスケ、バレー、卓球などのプロスポーツがあるが、一方でそれらを観戦できるアリーナがない。
- 2023年に岡山芸術創造劇場「ハレノワ」が整備されたが、まちづくりの起爆剤として活かすことが重要。「ハレノワ」だけでなく、「文化・芸術のまち」として周辺にも他の施設などができてくると、エリアとして盛り上がる可能性はある。
- 地域資源を活かしながら、岡山ならではのことを考えないといけない。歴史や文化を軸に考えることはできないか。
- ウェルビーイングなまちづくりが重要。

（４）定住志向に影響する地域特性

アンケート調査結果より、岡山都市圏において定住志向に影響を与える地域特性を、居住地・出身地の違い、現在の暮らしに対する評価の違い等による比較を行い、整理する。

① 岡山都市圏での暮らしについての評価

- 岡山都市圏居住者（都市圏内出身者）のうち、暮らしに幸せを感じている人（とても思う＋思う）の割合は約半数であり、幸福感は比較的高い。
- 一方、大都市圏等出身者で暮らしに幸せを感じている人の割合は3割程度であり、岡山都市圏出身者に比べ、大都市圏等からの転入者の幸福感は低い傾向にある。

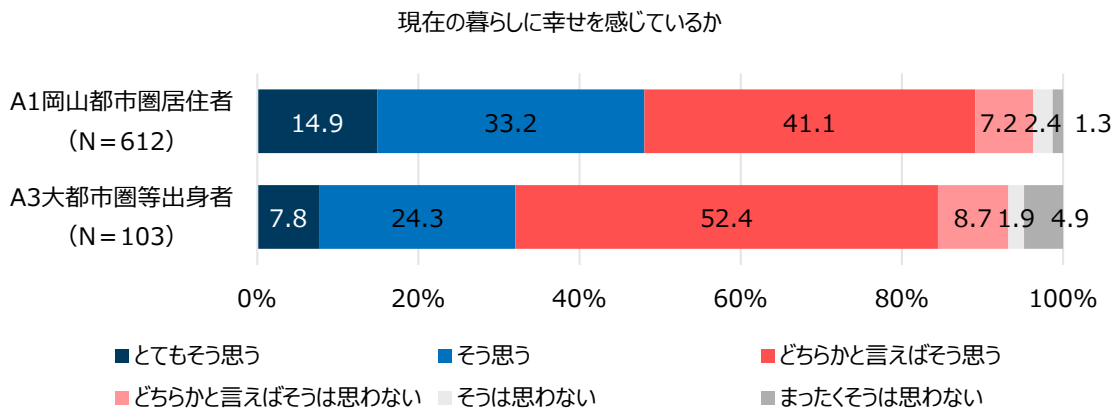


図 27 岡山都市圏における暮らしの幸福感

- 岡山都市圏居住者（都市圏内出身者）のうち、これからも岡山都市圏に住み続けたいと思う人（とても思う＋思う）の割合は5割強であり、定住意向は比較的高い。
- 一方、大都市圏等出身者で、これからも岡山都市圏に住み続けたいと思う人の割合は3割弱であり、岡山都市圏出身者に比べ、大都市圏等からの転入者の定住意向は低い傾向にある。

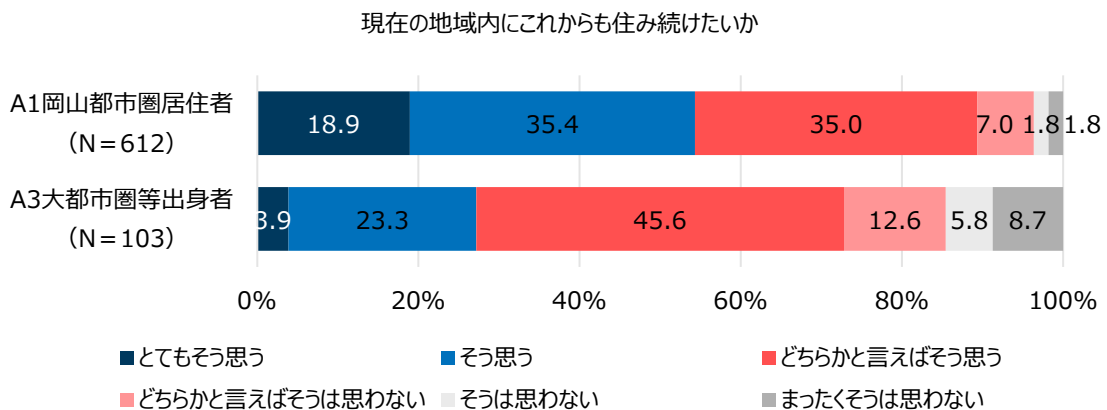


図 28 岡山都市圏への定住志向

- 岡山都市圏居住者（都市圏内出身者）の定住意向と幸福度の関係をみると、暮らしに幸せを感じている人では、これからも岡山都市圏に住み続けたいと思う人の割合が88.5%を占めるのに対し、暮らしに幸せを感じていない人（どちらかと言えば思わない＋思わない＋まったく思わない）では4.8%にとどまっている。
- また、大都市圏等出身者についても、これからも岡山都市圏に住み続けたいと思う人の割合は、暮らしに幸せを感じている人では66.6%、どちらかと言えば幸せな人では11.1%、暮らしに幸せを感じていない人では0%となっている。
- このように、出身地に関わらず、幸福感の高い人ほど相対的に定住意向も高いことから、地域での暮らしに対する幸福感を高めることが、定住促進につながる可能性が伺える。

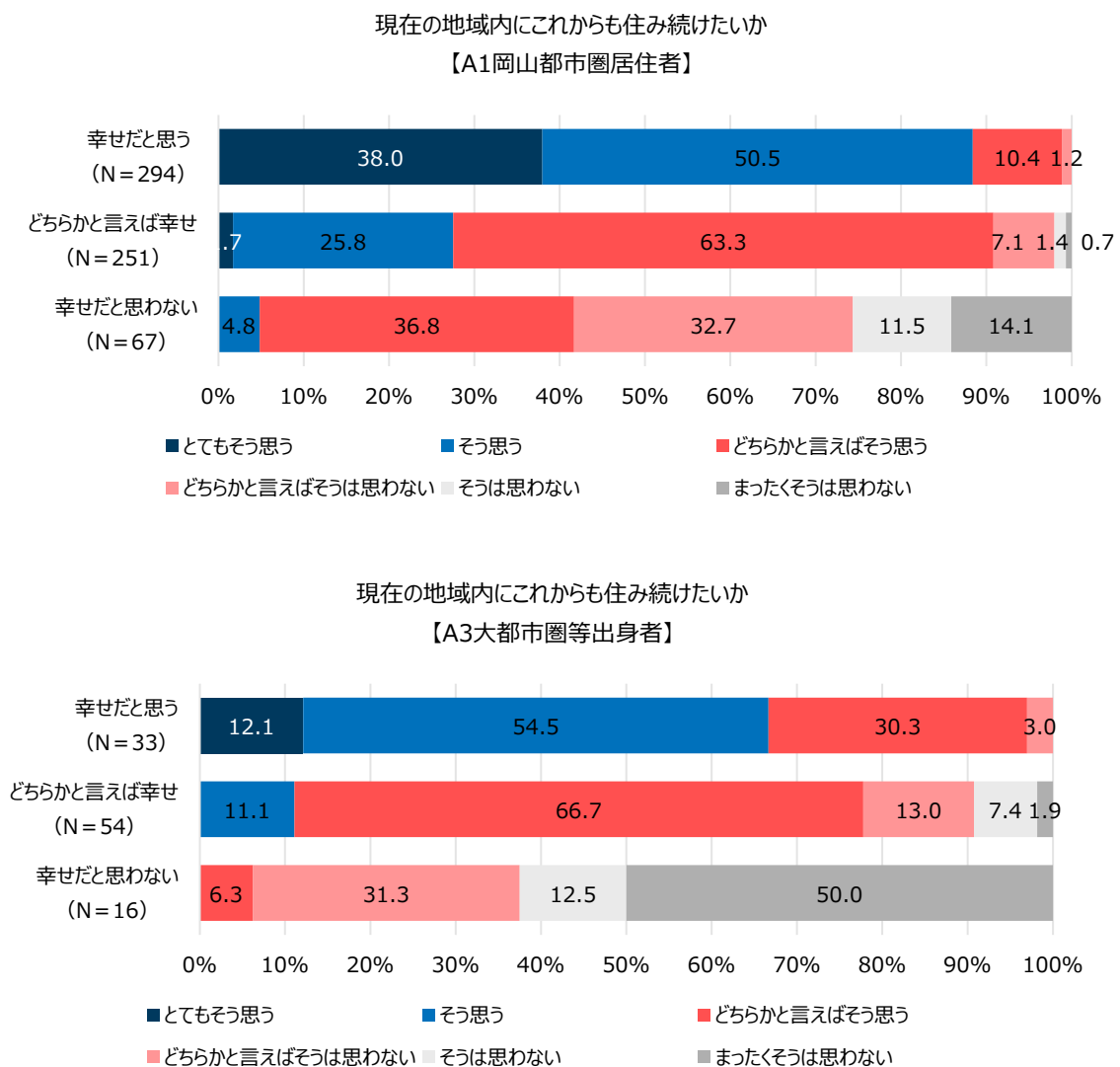


図 29 岡山都市圏における暮らしの幸福感と定住意向の関係

② 岡山都市圏の地域特性についての評価

a. 都市圏のイメージ

- 岡山都市圏居住者（都市圏内出身者）が都市圏に持つイメージをみると、自然環境（①）や暮らしの安全（③④）、人間関係（⑤⑥）、暮らしのゆとり（⑱）などのスコアが高く、「暮らしやすさ」が都市圏の強みとなっている一方で、まちのにぎわい（⑨⑩）や、トレンドの発信・興奮体験等のわくわく感（⑬⑭）、知的刺激等の創造性（⑮⑯）などのスコアが低い。（※（ ）内の数字はp.25表4の項目、以下同様。）
- また、大都市圏居住者（大都市圏への転出者）が岡山都市圏に持つイメージと比較すると、近所づきあい等のコミュニティ（⑦⑧）や地域の文化（⑪）などについては、岡山都市圏居住者よりスコアが高く、これらは大都市圏への転出者にとっての岡山都市圏の強みと考えられる。
- 一方、暮らしや働き方のゆとり（⑲⑳㉑）、暮らしの利便性（㉒㉓）のほか、岡山都市圏居住者のスコアが低い、まちのにぎわい（⑨⑩）やトレンドの発信・興奮体験等のわくわく感（⑬⑭）、知的刺激等の創造性（⑮⑯）などについては、大都市圏居住者のスコアもあまり変わらない。
- さらに、大都市圏出身者（大都市圏からの転入者）が岡山都市圏に持つイメージと比較すると、全体的に岡山都市圏出身者に比べスコアが低いが、特に、人間関係やコミュニティ（⑤⑥⑦）などのスコアが低く、大都市圏からの転入者にとっては、岡山都市圏の強みの1つである、地域との関係性の構築が難しいことが伺える。

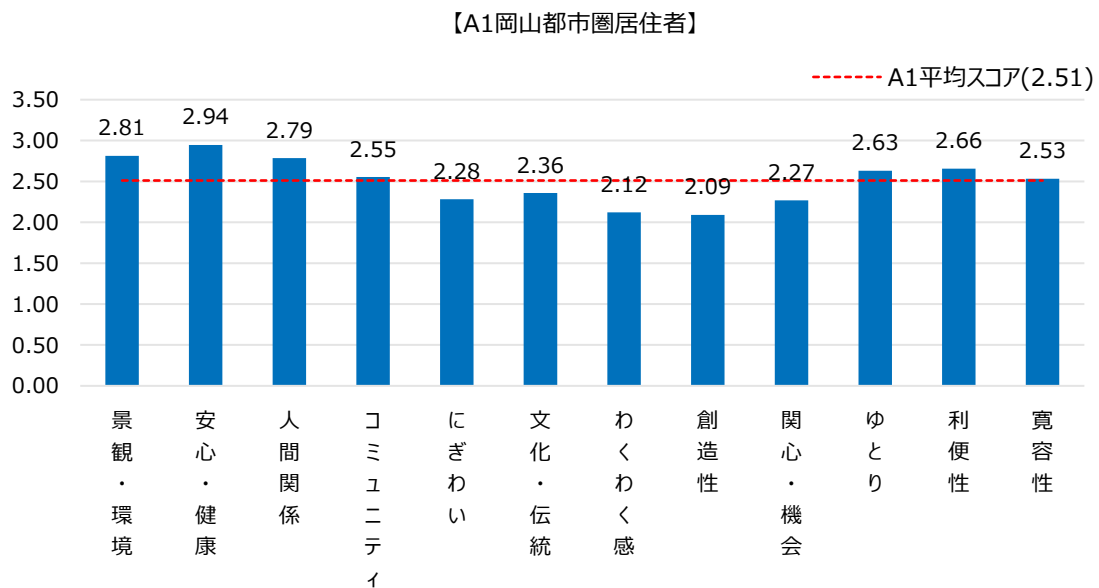


図 30 岡山都市圏のイメージ（カテゴリー別スコア）

（注）各設問について、とてもそう思う＝4点、ややそう思う＝3点、あまりそう思わない＝2点、思わない＝1点により計算し、カテゴリーの平均を算出。

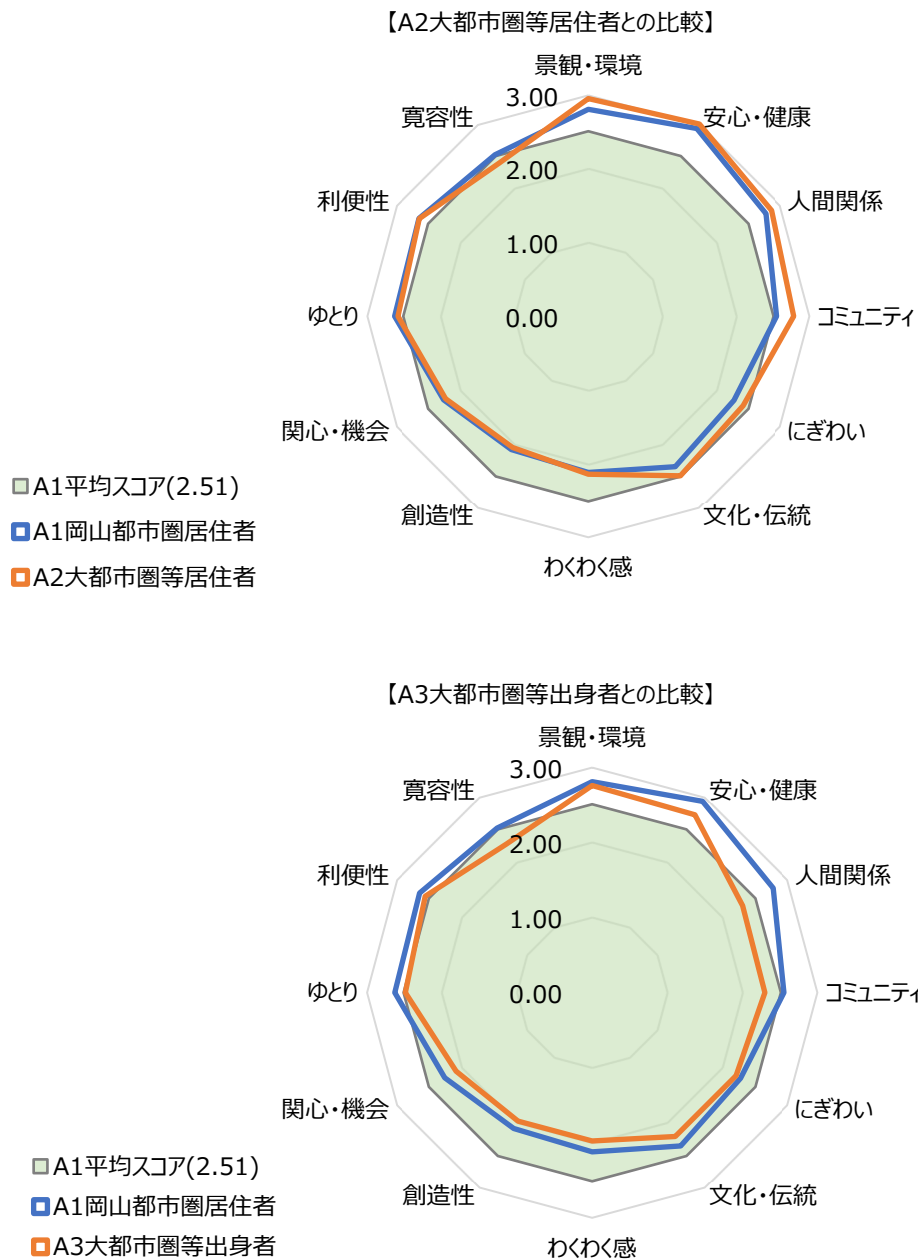


図 31 岡山都市圏のイメージ【大都市圏等居住者・出身者との比較】(カテゴリー別スコア)

(注) 各設問について、とても思う=4点、やや思う=3点、あまりそう思わない=2点、思わない=1点により計算し、カテゴリーの平均を算出。

| カテゴリー | 項目 | A1岡山市圏居住者 | A2大都市圏居住者 | A3大都市圏出身者 |
|--------|-----------------------|-----------|-----------|-----------|
| 景観・環境 | ①自然に恵まれている | 3.18 | 3.36 | 3.16 |
| | ②印象的な街並みがある | 2.45 | 2.55 | 2.37 |
| 安心・健康 | ③元気な高齢者が多い | 2.81 | 2.77 | 2.65 |
| | ④安全で安心して暮らせる | 3.08 | 3.26 | 2.83 |
| 人間関係 | ⑤気の合う仲間がいる | 2.74 | 2.78 | 2.24 |
| | ⑥頼りにできる人がいる | 2.83 | 2.97 | 2.39 |
| コミュニティ | ⑦近所づきあいがある | 2.44 | 2.75 | 2.03 |
| | ⑧地域に愛着のある人が多い | 2.67 | 2.83 | 2.57 |
| にぎわい | ⑨まちににぎわいがある | 2.36 | 2.50 | 2.33 |
| | ⑩成長力のある産業がある | 2.20 | 2.35 | 2.10 |
| 文化・伝統 | ⑪地域の人に愛される文化がある | 2.38 | 2.55 | 2.34 |
| | ⑫伝統やしきたりが自分に合っている | 2.34 | 2.45 | 2.09 |
| わくわく感 | ⑬文化やトレンドを国内外に発信している | 2.10 | 2.17 | 1.97 |
| | ⑭興奮や感動する体験ができる | 2.14 | 2.12 | 1.98 |
| 創造性 | ⑮知的刺激や新しい情報にあふれている | 2.10 | 2.07 | 2.02 |
| | ⑯革新的なことに取り組む人が多い | 2.08 | 2.05 | 1.93 |
| 関心・機会 | ⑰色々な人と出会う機会がある | 2.24 | 2.27 | 2.06 |
| | ⑱自分に向けた仕事が見つかりやすい | 2.30 | 2.20 | 2.13 |
| ゆとり | ⑲自分のペースで暮らせる | 2.99 | 2.92 | 2.78 |
| | ⑳歩きたくなる街並みがある | 2.45 | 2.54 | 2.39 |
| | ㉑自分に合った働き方ができる | 2.53 | 2.34 | 2.42 |
| | ㉒暮らしと調和した働き方ができる | 2.56 | 2.53 | 2.38 |
| 利便性 | ㉓必要な場所や施設が揃っている | 2.70 | 2.66 | 2.67 |
| | ㉔まちなかを公共交通や自転車で移動しやすい | 2.61 | 2.64 | 2.47 |
| 寛容性 | ㉕多様なものが受け入れられる | 2.48 | 2.38 | 2.19 |
| | ㉖しがらみが少ない | 2.59 | 2.44 | 2.38 |

A1 : A1平均より+10%以上、A2・A3 : A1より+10%以上
 A1 : A1平均より+5%以上、A2・A3 : A1より+5%以上

A1 : A1平均より-10%以下、A2・A3 : A1より10%以下
 A1 : A1平均より-5%以下、A2・A3 : A1より-5%以下

表4 岡山市圏のイメージ【大都市圏等居住者・出身者との比較】（項目別スコア）

（注）各設問について、とてもそう思う＝4点、ややそう思う＝3点、あまりそう思わない＝2点、思わない＝1点により計算。

- 幸福感の高い人（とても幸せだと思う＋幸せだと思う）と幸福感が中程度～低い人（どちらかと言えば幸せだと思う／思わない＋幸せだと思わない＋まったく幸せだと思わない）の岡山都市圏のイメージを比較すると、人間関係（⑤⑥）やまちなぎわい（⑨）、地域の文化・伝統（⑪⑫）、仕事や出会いの機会（⑰⑱）、働き方のゆとり（⑳㉑）、移動の利便性（㉒）、まちなぎわい（㉓）などについて、幸福感の高い人のスコアが高い。
（※（ ）内の数字はp.27表5の項目。）
- すなわち、幸福感の高い人は、都市圏に対して「人間関係に恵まれる」「自分らしく暮らせる」「地域の文化や愛着を感じる」「まちなぎわいがある」「寛容性がある」「移動が便利」などのイメージを持っていると言え、こうしたイメージを創造することが、岡山都市圏居住者の幸福感の向上につながると考えられる。
- また、これらを全体スコアとの相関でみると、「人間関係に恵まれる」「自分らしく暮らせる」「生活や移動が便利」「寛容性がある」は全体のスコアも相対的に高く、「地域の文化や愛着を感じる」「まちなぎわいがある」は全体のスコアも相対的に低いことから、強み・弱みに応じた方策の検討が必要と言える。

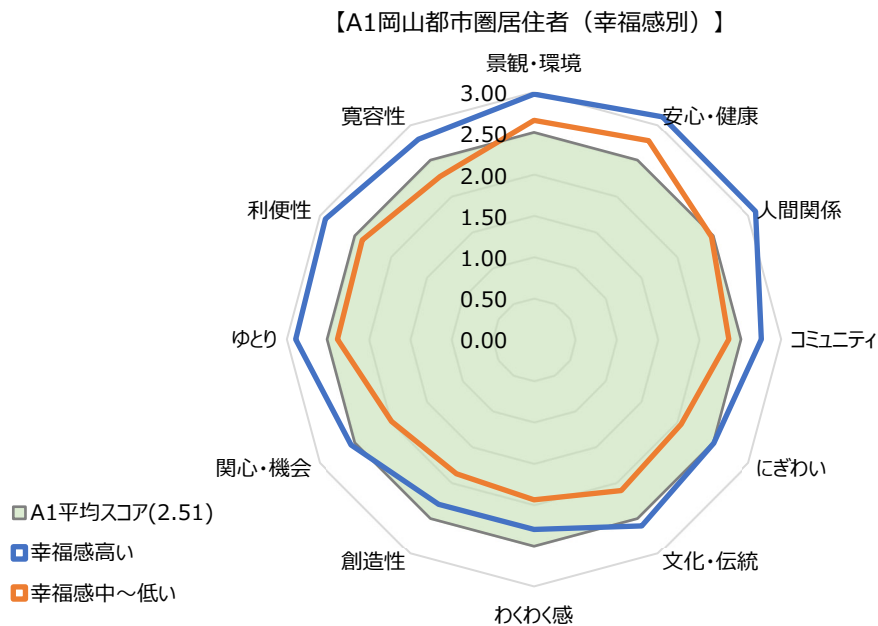


図 32 岡山都市圏のイメージ【幸福感比較】（カテゴリー別スコア）

（注）各設問について、とてもそう思う＝4点、ややそう思う＝3点、あまりそう思わない＝2点、思わない＝1点により計算し、カテゴリーの平均を算出。

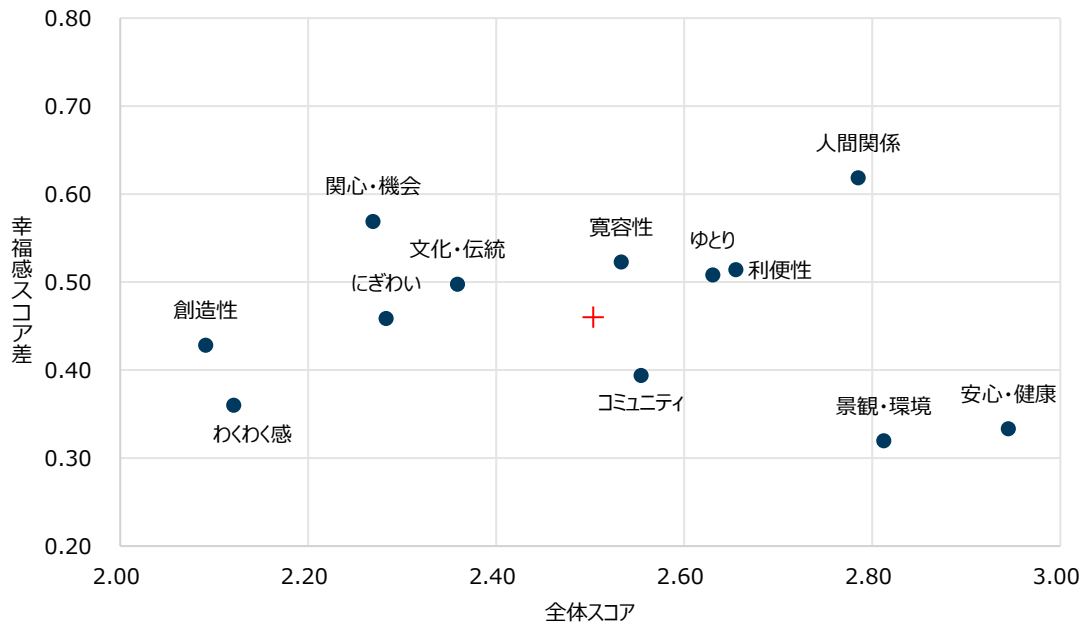


図 33 岡山都市圏イメージ【幸福感比較】(カテゴリー別スコア)

(注) 各設問について、とてもそう思う=4点、ややそう思う=3点、あまりそう思わない=2点、思わない=1点により計算し、カテゴリーの平均を算出。

| カテゴリー | 項目 | a 幸福感高い | b 幸福感中程度 ~低い | 幸福感スコア差(a-b) |
|--------|-----------------------|------------|--------------------|--------------|
| 景観・環境 | ①自然に恵まれている | 3.28 | 3.09 | 0.19 |
| | ②印象的な街並みがある | 2.68 | 2.23 | 0.45 |
| 安心・健康 | ③元気な高齢者が多い | 2.95 | 2.68 | 0.28 |
| | ④安全で安心して暮らせる | 3.28 | 2.89 | 0.39 |
| 人間関係 | ⑤気の合う仲間がいる | 3.07 | 2.44 | 0.63 |
| | ⑥頼りにできる人がいる | 3.14 | 2.53 | 0.61 |
| コミュニティ | ⑦近所づきあいがある | 2.62 | 2.27 | 0.35 |
| | ⑧地域に愛着のある人が多い | 2.90 | 2.46 | 0.43 |
| にぎわい | ⑨まちににぎわいがある | 2.64 | 2.11 | 0.53 |
| | ⑩成長力のある産業がある | 2.41 | 2.02 | 0.39 |
| 文化・伝統 | ⑪地域の人に愛される文化がある | 2.61 | 2.16 | 0.46 |
| | ⑫伝統やしきたりが自分に合っている | 2.62 | 2.08 | 0.54 |
| わくわく感 | ⑬文化やトレンドを国内外に発信している | 2.26 | 1.96 | 0.30 |
| | ⑭興奮や感動する体験ができる | 2.36 | 1.94 | 0.42 |
| 創造性 | ⑮知的刺激や新しい情報にあふれている | 2.35 | 1.87 | 0.48 |
| | ⑯革新的なことに取り組む人が多くいる | 2.28 | 1.90 | 0.38 |
| 関心・機会 | ⑰色々な人と出会う機会がある | 2.53 | 1.97 | 0.55 |
| | ⑱自分に向けた仕事が見つかりやすい | 2.60 | 2.02 | 0.58 |
| ゆとり | ⑲自分のペースで暮らせる | 3.19 | 2.79 | 0.40 |
| | ⑳歩きたくなる街並みがある | 2.70 | 2.22 | 0.48 |
| | ㉑自分に合った働き方ができる | 2.80 | 2.27 | 0.53 |
| 利便性 | ㉒暮らしと調和した働き方ができる | 2.89 | 2.25 | 0.63 |
| | ㉓必要な場所や施設が揃っている | 2.95 | 2.47 | 0.47 |
| 寛容性 | ㉔まちなかを公共交通や自転車で移動しやすい | 2.90 | 2.34 | 0.56 |
| | ㉕多様なものが受け入れられる | 2.76 | 2.21 | 0.56 |
| | ㉖しがらみが少ない | 2.84 | 2.36 | 0.49 |

■ +0.5以上の項目

表 5 岡山都市圏のイメージ【幸福感比較】(項目別スコア)

(注) 各設問について、とてもそう思う=4点、ややそう思う=3点、あまりそう思わない=2点、思わない=1点により計算。

b.都市圏での経験(アクティビティ)

- 岡山都市圏での経験(アクティビティ)をみると、岡山都市圏居住者(都市圏内出身者)では、「自然に触れる(①②)」「まちの景観に親しむ(④)」「家族や友人との時間を過ごす(⑧⑨)」「公共交通でまちに出かける(④④)」「通院や買い物で遠くにでかけない(④③④⑥)」「子どもとまちに出かける(④⑦)」といった経験のスコアが高く、「刺激や興味のある活動に参加する(③①③②)」「多様な人と交流する(③③③④)」「多様な働き方をする(④①④②)」といった経験のスコアが低い。(※()内の数字はp.29表6の項目、以下同様。)
- また、大都市圏居住者(大都市圏への転出者)の岡山都市圏での経験と比較すると、「自然に触れる(①②)」「まちの景観に親しむ(④)」「歴史や伝統に触れる(②③②④)」「プロスポーツや芸術に触れる(②⑤②⑨)」といった経験について、スコアが岡山都市圏居住者より高く、これらは大都市圏への転出者にとっての岡山都市圏の強みと考えられる。
- 一方、岡山都市圏居住者のスコアが低い経験のうち、「刺激や興味のある活動に参加する(③①③②)」「様々な交流や自己実現の機会に参加する(③③③④)」といった経験のスコアは、大都市圏居住者でもあまり変わらないのに対し、「多様な働き方をする(④①④②)」といった経験のスコアは、大都市圏居住者の方が低く、大都市圏への転出者に対する弱みとなっていることが考えられる。
- さらに、大都市圏出身者(大都市圏からの転入者)の岡山都市圏での経験と比較すると、全体的に岡山都市圏出身者に比べスコアが低く、大都市圏に比べ、アクティビティそのものが少ないことが伺える一方で、「安全に暮らす(⑥⑦)」や「公共交通でまちに出かける(④④)」「通院や買い物で遠くにでかけない(④③④⑥)」といった経験は都市圏出身者とあまり変わらない。

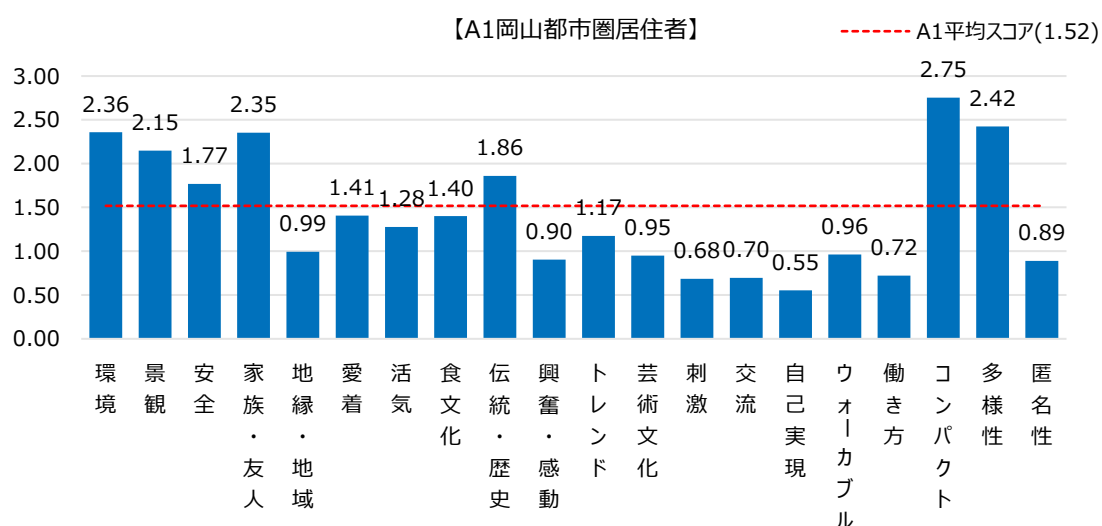


図 34 岡山都市圏での経験(カテゴリ別スコア)

(注) 各設問について、頻繁にある=5点、たまにある=3点、1~2回はある=1点、ほとんどない=1点により計算し、カテゴリごとの平均値を算出。(マイナス評価の項目は逆の点数で計算。)

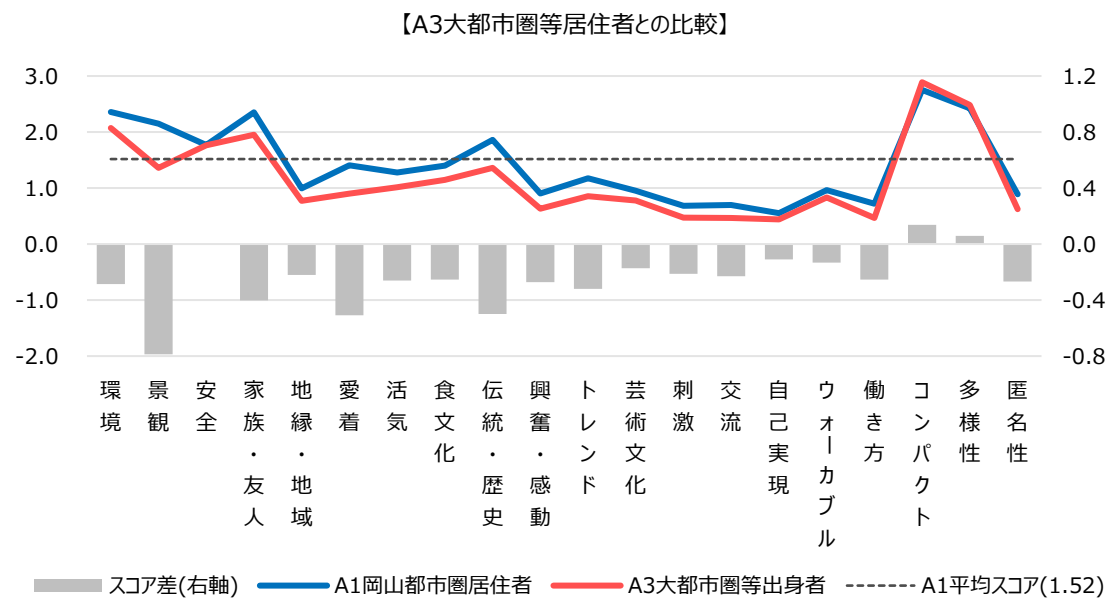
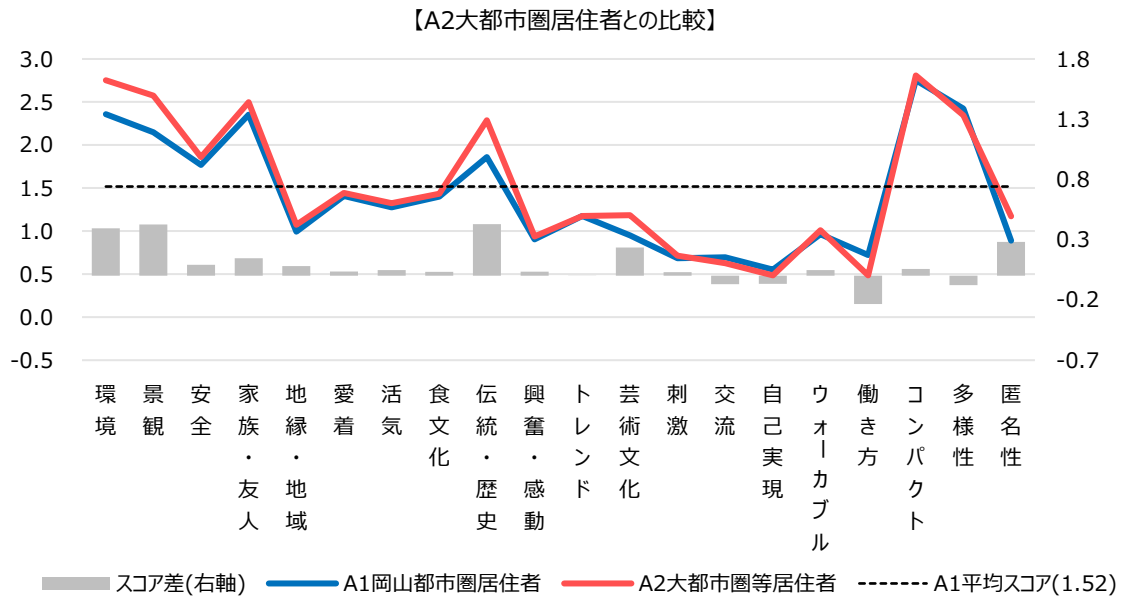




図 35 岡山都市圏での経験【大都市圏等出身者・居住者との比較】(カテゴリー別スコア)

(注) 各設問について、頻繁にある=5点、たまにある=3点、1~2回はある=1点、ほとんどない=1点により計算し、カテゴリーごとの平均値を算出。(マイナス評価の項目は逆の点数で計算。)

| カテゴリー | 項目 | A1岡山市 圏居住者 | A2大都市 圏等居住者 | A3大都市 圏等出身者 |
|---------|--------------------------------|---------------|----------------|----------------|
| 環境 | ①海や山、川などで自然を感じた | 2.65 | 3.44 | 2.35 |
| | ②まちなかの公園や川辺で緑や水に触れた | 2.30 | 2.87 | 1.84 |
| | ③ウォーキングやランニングで気持ちの良い汗をかいた | 2.11 | 1.94 | 2.02 |
| 景観 | ④決めているいつもの場所で待ち合わせをした | 2.28 | 2.94 | 1.13 |
| | ⑤まちの風景をゆっくりと眺めた、眺めている人を見た | 2.02 | 2.20 | 1.59 |
| 安全 | ⑥夜間にひとりでまちを歩いた | 1.47 | 1.33 | 1.44 |
| | ⑦まちなかでゴミの散乱やたばこのポイ捨てを見た | 2.06 | 2.39 | 2.09 |
| 家族・友人 | ⑧友人や知人との飲食を楽しんだ | 2.48 | 2.94 | 2.15 |
| | ⑨休日に友人と買い物や遊びに出かけた | 2.33 | 2.82 | 1.52 |
| | ⑩知人の相談に乗った、相談に乗ってもらった | 2.11 | 2.46 | 1.63 |
| | ⑪通りや公園で遊ぶ子どもたちの声を聞いた | 2.56 | 2.71 | 2.47 |
| | ⑫仕事が終わった後、趣味や家族との時間を過ごした | 2.29 | 1.56 | 1.98 |
| 地縁・地域 | ⑬地域の問題解決に協力して取り組んだ | 0.94 | 0.93 | 0.59 |
| | ⑭地域のボランティアや行事に参加した | 1.05 | 1.21 | 0.95 |
| 愛着 | ⑮近所の馴染みの店で店主や常連客と盛り上がった | 1.30 | 1.19 | 0.73 |
| | ⑯お気に入りの店で特別な時間を過ごした | 1.52 | 1.69 | 1.07 |
| 活気 | ⑰路上でパフォーマンスや演奏している人を見た | 1.20 | 1.45 | 0.86 |
| | ⑱活気ある街の喧騒を心地よく感じた | 1.16 | 1.29 | 0.98 |
| | ⑲行列のできるお店に並んだ、並んでいる人を見た | 1.86 | 1.87 | 1.59 |
| | ⑳まちなかでWEB会議や打ち合わせした、している人を見た | 0.88 | 0.68 | 0.62 |
| 食文化 | ㉑庶民的な店で地元の料理やお酒を楽しんだ | 1.51 | 1.67 | 1.31 |
| | ㉒朝市やマルシェで地元の食材を買った | 1.29 | 1.19 | 0.98 |
| 伝統・歴史 | ㉓伝統行事やお祭りに参加した | 1.62 | 2.06 | 0.86 |
| | ㉔神社やお寺に参拝した | 2.10 | 2.51 | 1.85 |
| 興奮・感動 | ㉕プロスポーツを観戦して興奮・感動した | 0.80 | 0.93 | 0.54 |
| | ㉖コンサート・クラブなどのイベントに参加した | 1.00 | 0.94 | 0.72 |
| トレンド | ㉗ミッシュランや食バログで評判の店で食事した | 0.90 | 0.86 | 0.55 |
| | ㉘自分好みの新しいお店や面白そうな場所を見つけた | 1.44 | 1.49 | 1.16 |
| 芸術文化 | ㉙美術館や劇場で名作を鑑賞した | 0.96 | 1.21 | 0.74 |
| | ㉚まちなかでアートや芸術作品を見た | 0.94 | 1.16 | 0.82 |
| 刺激 | ㉛興味のある市民活動やサークル活動に参加した | 0.64 | 0.66 | 0.48 |
| | ㉜刺激的で面白い人達が集まるイベントやパーティーに参加した | 0.72 | 0.77 | 0.47 |
| 交流 | ㉝様々な業種の人と仕事を離れて交流した | 0.69 | 0.58 | 0.48 |
| | ㉞友人や知人に仕事を紹介された、紹介した | 0.70 | 0.67 | 0.46 |
| 自己実現 | ㉟ためになるセミナーや市民講座に参加した | 0.53 | 0.56 | 0.41 |
| | ㊱自治体や企業による脱炭素などの社会課題解決の取組に参加した | 0.57 | 0.41 | 0.48 |
| ウォーカーブル | ㊲まちなかで寄り道をしていつもは歩かない道を歩いた | 1.22 | 1.28 | 1.21 |
| | ㊳まちなかのベンチでひと休みした | 1.02 | 1.11 | 1.02 |
| | ㊴まちなかの公園やオープンカフェで飲食をした | 1.06 | 1.03 | 0.62 |
| | ㊵まちなかをシェアサイクルで移動した | 0.55 | 0.62 | 0.47 |
| 働き方 | ㊶カフェやコワーキングスペースで仕事や作業等をした | 0.72 | 0.48 | 0.39 |
| | ㊷テレワークやワーケーションにより仕事をした | 0.72 | 0.50 | 0.54 |
| コンパクト | ㊸地域外の病院まで通院した | 3.16 | 3.50 | 3.45 |
| | ㊹公共交通を使ってまちに出かけた | 1.93 | 2.56 | 1.83 |
| | ㊺車の渋滞で待ち合わせに遅刻した | 3.21 | 3.21 | 3.65 |
| | ㊻日常的な買い物等のために遠出をした | 2.71 | 1.95 | 2.62 |
| 多様性 | ㊼まちなかで小さい子どもを連れてくる家族を見た | 2.90 | 2.97 | 3.21 |
| | ㊽外国語の案内板を見た | 1.95 | 1.72 | 1.75 |
| 匿名性 | ㊾カフェやバーでひとりの時間を過ごした | 1.06 | 1.32 | 0.80 |
| | ㊿秘密のデートをした | 0.71 | 1.02 | 0.45 |

 A1: A1平均より+50%以上、A2・A3: A1より+25%以上
 A1: 平均より+25%以上、A2・A3: A1より+10%以上



 A1: 平均より-50%以下、A2・A3: aより-25%以下
 A1: 平均より-25%以下、A2・A3: aより-10%以上

表6 岡山都市圏での経験（項目別スコア）

（注）各設問について、頻繁にある＝5点、たまにある＝3点、1～2回はある＝1点、ほとんどない＝1点により計算。

（マイナス評価の項目は逆の点数で計算。）

- 幸福感の高い人と幸福感が中程度～低い人の岡山都市圏での経験を比較すると、「自然に触れる (①②)」「まちの景観に親しむ (⑤)」「地元の食や店を楽しむ (⑬⑲⑳)」「まちの活気を感じる (⑱⑲)」「歴史や伝統に触れる (⑳㉑)」や「プロスポーツや芸術に触れる (㉕㉖)」「まちを歩いて楽しむ (⑥㉗㉘)」「公共交通でまちに出かける (④)」といった経験について、幸福感の高い人のスコアが高く、こうした経験ができる都市としていくことが、岡山都市圏居住者の幸福感の向上につながると考えられる。

(※ () 内の数字はp.33表7の項目)

- また、これらを全体スコアとの相関で見ると、「自然に触れる」「まちの景観に親しむ」「歴史や伝統に触れる」のような経験は全体のスコアも相対的に高く、「地元の食や店を楽しむ」「まちの活気を感じる」「プロスポーツや芸術に触れる」といった経験は全体のスコアは相対的に低いことから、強み・弱みに応じた方策の検討が必要と言える。

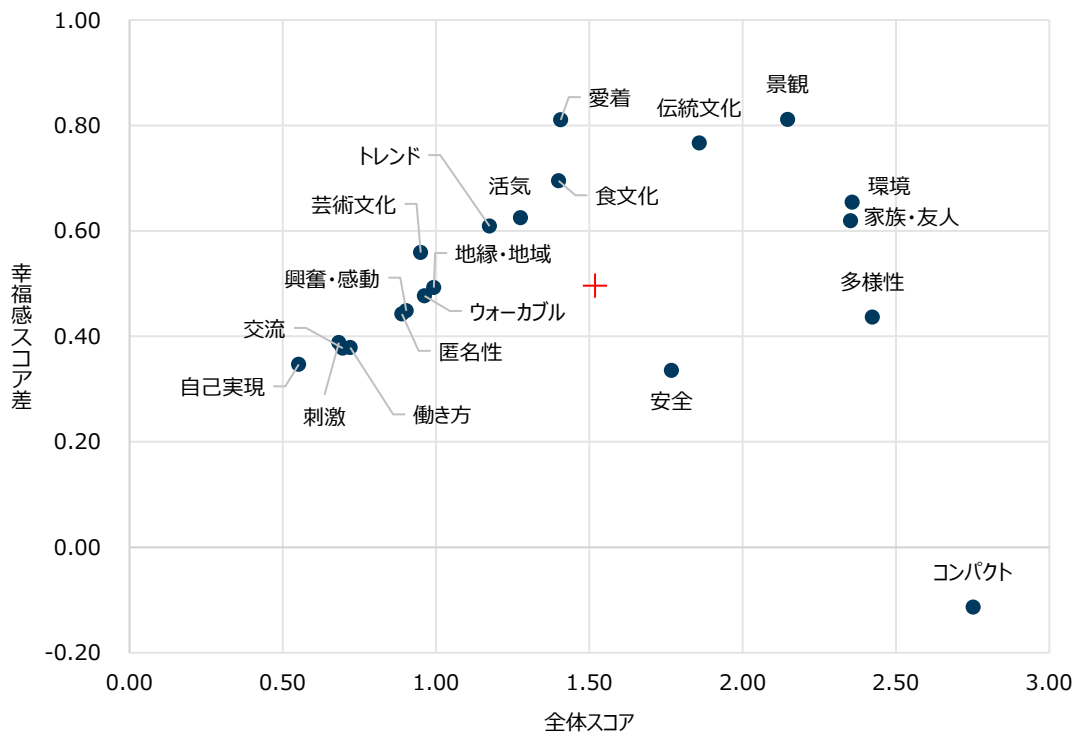
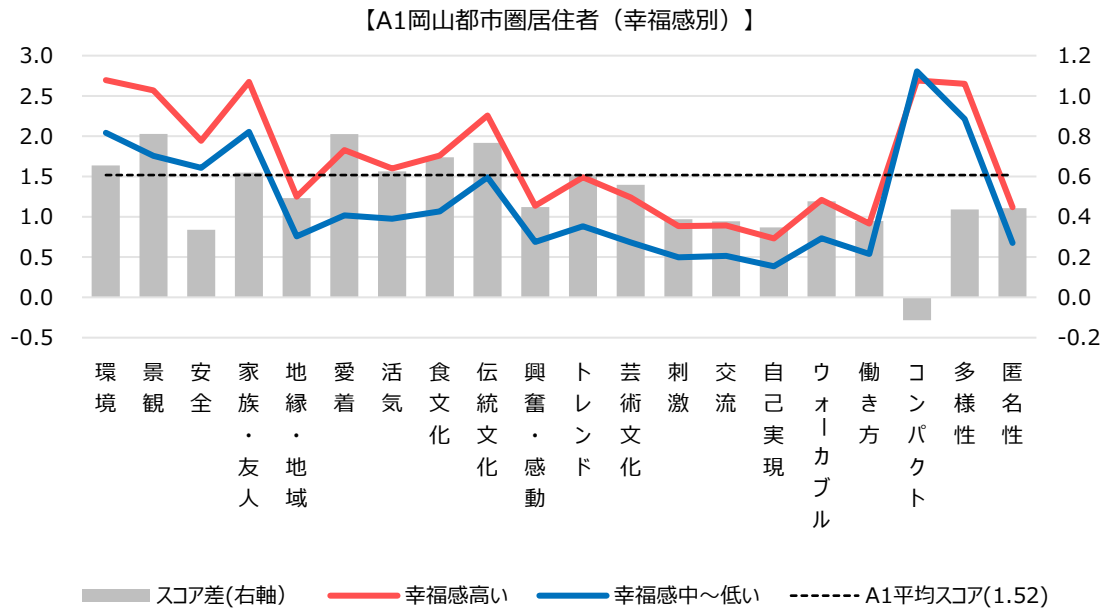


図 36 岡山都市圏での経験【幸福感比較】（カテゴリー別スコア）

(注) 各設問について、頻繁にある=5点、たまにある=3点、1~2回はある=1点、ほとんどない=1点により計算し、カテゴリーごとの平均値を算出。(マイナス評価の項目は逆の点数で計算。)

| カテゴリー | 項目 | a 幸福感高い | b 幸福感中程度～低い | 差異 (a-b) |
|---------|--------------------------------|------------|----------------|-------------|
| 環境 | ①海や山、川などで自然を感じた | 2.93 | 2.40 | 0.53 |
| | ②まちなかの公園や川辺で緑や水に触れた | 2.68 | 1.95 | 0.73 |
| 景観 | ③ウォーキングやランニングで気持ちの良い汗をかけた | 2.48 | 1.78 | 0.70 |
| | ④決めているいつもの場所で待ち合わせをした | 2.60 | 1.97 | 0.63 |
| 安全 | ⑤まちの風景をゆっくりと眺めた、眺めている人を見た | 2.53 | 1.54 | 0.99 |
| | ⑥夜間にひとりでまちを歩いた | 1.80 | 1.17 | 0.62 |
| 家族・友人 | ⑦まちなかでゴミの散乱やたばこのポイ捨てを見た | 2.09 | 2.04 | 0.05 |
| | ⑧友人や知人との飲食を楽しんだ | 2.80 | 2.18 | 0.62 |
| | ⑨休日に友人と買い物や遊びに出かけた | 2.59 | 2.09 | 0.50 |
| | ⑩知人の相談に乗った、相談に乗ってもらった | 2.50 | 1.75 | 0.75 |
| | ⑪通りや公園で遊ぶ子どもたちの声を聞いた | 2.87 | 2.26 | 0.61 |
| 地縁・地域 | ⑫仕事が終わった後、趣味や家族との時間を過ごした | 2.60 | 1.99 | 0.61 |
| | ⑬地域の問題解決に協力して取り組んだ | 1.19 | 0.70 | 0.49 |
| 愛着 | ⑭地域のボランティアや行事に参加した | 1.31 | 0.81 | 0.50 |
| | ⑮近所の馴染みの店で店主や常連客と盛り上がった | 1.67 | 0.95 | 0.71 |
| 活気 | ⑯お気に入りの店で特別な時間を過ごした | 1.99 | 1.08 | 0.91 |
| | ⑰路上でパフォーマンスや演奏している人を見た | 1.46 | 0.95 | 0.51 |
| | ⑱活気ある街の喧騒を心地よく感じた | 1.57 | 0.78 | 0.78 |
| | ⑲行列のできるお店に並んだ、並んでいる人を見た | 2.21 | 1.55 | 0.66 |
| 食文化 | ⑳まちなかでWEB会議や打ち合わせした、している人を見た | 1.17 | 0.62 | 0.54 |
| | ㉑庶民的な店で地元の料理やお酒を楽しんだ | 1.87 | 1.19 | 0.68 |
| 伝統・歴史 | ㉒朝市やマルシェで地元の食材を買った | 1.65 | 0.95 | 0.71 |
| | ㉓伝統行事やお祭りに参加した | 2.06 | 1.21 | 0.84 |
| 興奮・感動 | ㉔神社やお寺に参拝した | 2.46 | 1.77 | 0.69 |
| | ㉕プロスポーツを観戦して興奮・感動した | 1.10 | 0.52 | 0.58 |
| トレンド | ㉖コンサート・クラブなどのイベントに参加した | 1.17 | 0.85 | 0.32 |
| | ㉗ミシュランや食べログで評判の店で食事した | 1.17 | 0.66 | 0.51 |
| 芸術文化 | ㉘自分好みの新しいお店や面白そうな場所を見つけた | 1.81 | 1.10 | 0.71 |
| | ㉙美術館や劇場で名作を鑑賞した | 1.20 | 0.73 | 0.48 |
| 刺激 | ㉚まちなかでアートや芸術作品を見た | 1.28 | 0.63 | 0.64 |
| | ㉛興味のある市民活動やサークル活動に参加した | 0.85 | 0.45 | 0.40 |
| 交流 | ㉜刺激的で面白い人達が集まるイベントやパーティーに参加した | 0.92 | 0.54 | 0.38 |
| | ㉝様々な業種の人と仕事を離れて交流した | 0.91 | 0.49 | 0.42 |
| 自己実現 | ㉞友人や知人に仕事を紹介された、紹介した | 0.87 | 0.54 | 0.34 |
| | ㉟ためになるセミナーや市民講座に参加した | 0.67 | 0.40 | 0.27 |
| ウォーカーブル | ㊱自治体や企業による脱炭素などの社会課題解決の取組に参加した | 0.79 | 0.37 | 0.42 |
| | ㊲まちなかで寄り道をしていつもは歩かない道を歩いた | 1.53 | 0.94 | 0.60 |
| | ㊳まちなかのベンチでひと休みした | 1.24 | 0.81 | 0.42 |
| | ㊴まちなかの公園やオープンカフェで飲食をした | 1.38 | 0.76 | 0.62 |
| 働き方 | ㊵まちなかをシェアサイクルで移動した | 0.69 | 0.43 | 0.27 |
| | ㊶カフェやコワーキングスペースで仕事や作業等をした | 0.95 | 0.50 | 0.46 |
| コンパクト | ㊷テレワークやワーケーションにより仕事をした | 0.88 | 0.58 | 0.30 |
| | ㊸地域外の病院まで通院した | 3.03 | 3.28 | -0.25 |
| | ㊹公共交通を使ってまちに出かけた | 2.22 | 1.66 | 0.57 |
| | ㊺車の渋滞で待ち合わせに遅刻した | 2.98 | 3.42 | -0.45 |
| 多様性 | ㊻日常的な買い物等のために遠出をした | 2.54 | 2.86 | -0.32 |
| | ㊼まちなかで小さい子どもを連れてくる家族を見た | 3.16 | 2.65 | 0.52 |
| 匿名性 | ㊽外国語の案内板を見た | 2.14 | 1.78 | 0.36 |
| | ㊾カフェやバーでひとりの時間を過ごした | 1.31 | 0.83 | 0.48 |
| | ㊿秘密のデートをした | 0.92 | 0.52 | 0.41 |

+0.5以上の項目

表7 岡山都市圏での経験【幸福感比較】(項目別スコア)

(注) 各設問について、頻繁にある=5点、たまにある=3点、1~2回はある=1点、ほとんどない=1点により計算し、カテゴリーごとの平均値を算出。(マイナス評価の項目は逆の点数で計算。)

③ 熊本都市圏との地域特性の比較

岡山都市圏と同規模であり、大都市圏に近接するという立地条件も近い、熊本都市圏について、都市圏のイメージ、都市圏での経験からみた地域特性の比較を行う。

a. 都市圏のイメージ

- 熊本都市圏居住者の都市圏に対するイメージをみると、全体的に岡山都市圏と似たような傾向にあり、同じような性格の都市圏であることが伺える。
- 特に、暮らしや働き方のゆとり (⑱⑳㉑㉒) や生活の利便性 (㉓㉔)、人間関係 (⑤⑥)、まちの寛容性 (⑳㉑) などのスコアは同程度となっており、暮らしやすさについて両都市圏に大きな差はないと考えられる。(※ () 内の数字はp.35表8の項目、以下同様。)
- 一方で、熊本都市圏は、街並み (②) や地域への愛着 (⑧)、まちや産業のにぎわい (⑨⑩)、地域の文化・伝統 (⑪⑫)、トレンドの発信・興奮体験等のわくわく感 (⑬⑭) などのスコアが、岡山都市圏と比べ高く、地域文化への愛着やまちの活気に強みがあることが考えられる。

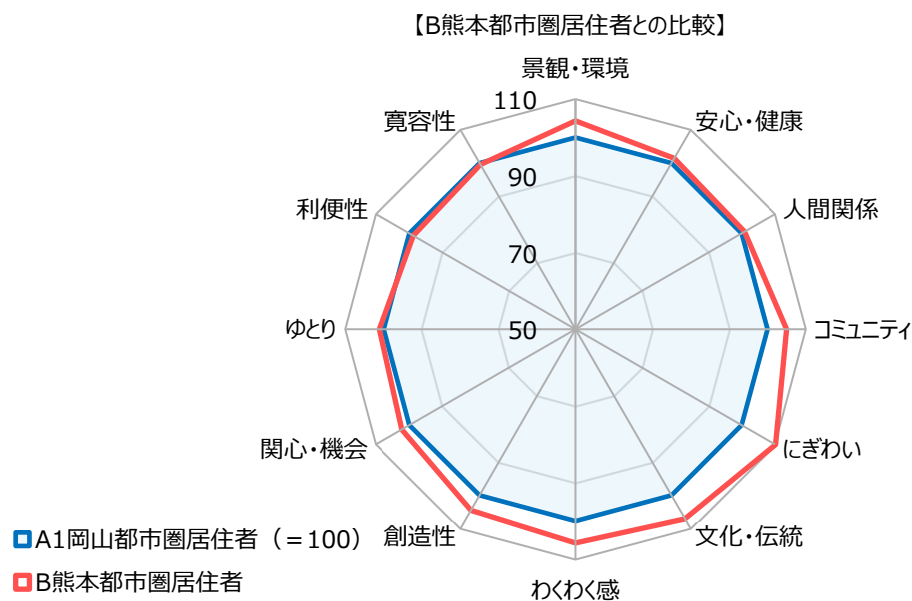


図 37 都市圏のイメージ (カテゴリー別スコア)

(注) 各設問について、とてもそう思う=4点、ややそう思う=3点、あまりそう思わない=2点、思わない=1点により計算し、カテゴリーごとの平均値を算出。

| カテゴリー | 項目 | A1岡山都市圏居住者 | B熊本都市圏居住者 | 指数 (A1=100) |
|--------|-----------------------|------------|-----------|-------------|
| 景観・環境 | ①自然に恵まれている | 3.18 | 3.28 | 103.1 |
| | ②印象的な街並みがある | 2.45 | 2.59 | 105.9 |
| 安心・健康 | ③元気な高齢者が多い | 2.81 | 2.92 | 103.8 |
| | ④安全で安心して暮らせる | 3.08 | 3.06 | 99.3 |
| 人間関係 | ⑤気の合う仲間がいる | 2.74 | 2.75 | 100.1 |
| | ⑥頼りにできる人がいる | 2.83 | 2.87 | 101.6 |
| コミュニティ | ⑦近所づきあいがある | 2.44 | 2.53 | 103.8 |
| | ⑧地域に愛着のある人が多い | 2.67 | 2.83 | 106.1 |
| にぎわい | ⑨まちににぎわいがある | 2.36 | 2.56 | 108.4 |
| | ⑩成長力のある産業がある | 2.20 | 2.47 | 112.1 |
| 文化・伝統 | ⑪地域の人に愛される文化がある | 2.38 | 2.58 | 108.5 |
| | ⑫伝統やしきたりが自分に合っている | 2.34 | 2.47 | 105.6 |
| わくわく感 | ⑬文化やトレンドを国内外に発信している | 2.10 | 2.22 | 105.6 |
| | ⑭興奮や感動する体験ができる | 2.14 | 2.26 | 105.8 |
| 創造性 | ⑮知的刺激や新しい情報にあふれている | 2.10 | 2.20 | 104.7 |
| | ⑯革新的なことに取り組む人が多くいる | 2.08 | 2.17 | 104.3 |
| 関心・機会 | ⑰色々な人と出会う機会がある | 2.24 | 2.33 | 104.1 |
| | ⑱自分に向いた仕事が見つかりやすい | 2.30 | 2.31 | 100.5 |
| ゆとり | ⑲自分のペースで暮らせる | 2.99 | 2.90 | 97.0 |
| | ⑳歩きたくなる街並みがある | 2.45 | 2.56 | 104.4 |
| | ㉑自分に合った働き方ができる | 2.53 | 2.58 | 102.0 |
| | ㉒暮らしと調和した働き方ができる | 2.56 | 2.61 | 102.0 |
| 利便性 | ㉓必要な場所や施設が揃っている | 2.70 | 2.68 | 99.1 |
| | ㉔まちなかを公共交通や自転車で移動しやすい | 2.61 | 2.57 | 98.5 |
| 寛容性 | ㉕多様なものが受け入れられる | 2.48 | 2.50 | 101.0 |
| | ㉖しがらみが少ない | 2.59 | 2.54 | 98.2 |

A1・B：各平均より+10%以上、指数：105.0以上
 A1・B：各平均より+5%以上、指数：102.5以上

A1・B：各平均より-10%以下、指数：95.0以下
 A1・B：各平均より-5%以下、指数：97.5以下

表8 都市圏のイメージ（項目別スコア）

（注）各設問について、とてもそう思う=4点、ややそう思う=3点、あまりそう思わない=2点、思わない=1点により計算。

b.都市圏での経験(アクティビティ)

- 熊本都市圏居住者の都市圏での経験(アクティビティ)についてみると、都市圏のイメージと同様に岡山都市圏と似たような傾向にあり、特に、「歴史や伝統に触れる(23②4)」 「芸術文化に触れる(29③0)」 「多様な働き方をする(41④2)」といった経験のスコアは両都市圏に大きな差はない。(※()内の数字はp.37表9の項目、以下同様。)
- こうした中で、「家族や友人との時間を過ごす(8⑧9⑩)」 「まちのコンパクトさを感じる(43④4④5④6)」といった経験のスコアは、岡山都市圏の方がややスコアが高く、熊本都市圏に対しての強みと考えられる。
- 一方で、「地域活動に参加する(13⑬⑭)」 「まちの活気を感じる(17⑰⑱)」 「刺激や興味のある活動に参加する(31⑳㉑)」 「様々な交流や自己実現の機会に参加する(33⑳㉑㉒㉓)」 「まちを歩いて楽しむ(38⑳㉑)」といった経験のスコアは、熊本都市圏の方が高く、熊本都市圏に対しての弱みと考えられる。

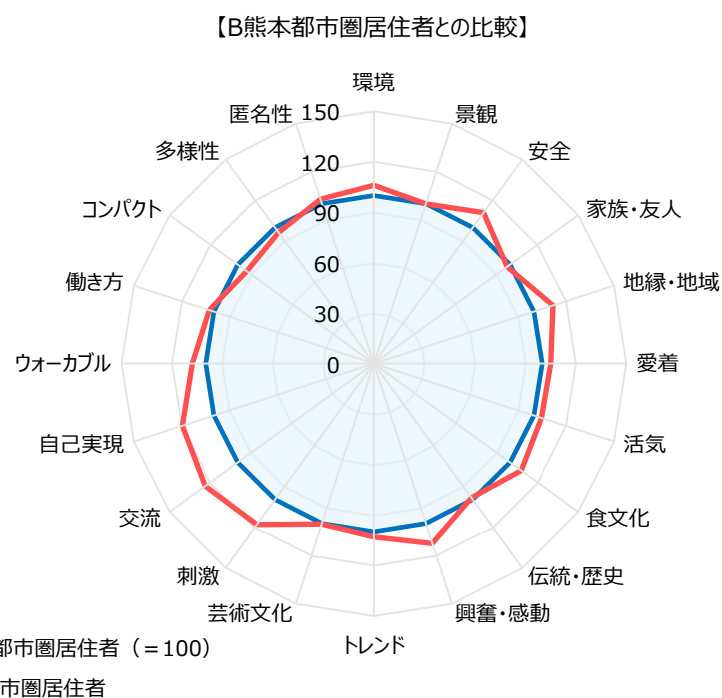


図 38 都市圏での経験 (項目別スコア)

(注) 各設問について、頻繁にある=5点、たまにある=3点、1~2回はある=1点、ほとんどない=1点により計算し、カテゴリーごとの平均値を算出。

| カテゴリー | 項目 | A1岡山都市圏居住者 | B熊本都市圏居住者 | 指数 (A1=100) |
|-------------|--------------------------------|----------------|-----------|-------------|
| 環境 | ①海や山、川などで自然を感じた | 2.65 | 2.79 | 105.4 |
| | ②まちなかの公園や川辺で緑や水に触れた | 2.30 | 2.48 | 107.4 |
| | ③ウォーキングやランニングで気持ちの良い汗をかいた | 2.11 | 2.23 | 105.3 |
| 景観 | ④決めているいつもの場所で待ち合わせをした | 2.28 | 2.13 | 93.7 |
| | ⑤まちの風景をゆっくりと眺めた、眺めている人を見た | 2.02 | 2.16 | 106.8 |
| 安全 | ⑥夜間にひとりでまちを歩いた | 1.47 | 1.50 | 101.8 |
| | ⑦まちなかでゴミの散乱やたばこのポイ捨てを見た | 2.06 | 2.42 | 117.3 |
| 家族・友人 | ⑧友人や知人との飲食を楽しんだ | 2.48 | 2.45 | 98.9 |
| | ⑨休日に友人と買い物や遊びに出かけた | 2.33 | 2.16 | 92.9 |
| | ⑩知人の相談に乗った、相談に乗ってもらった | 2.11 | 1.99 | 94.3 |
| | ⑪通りや公園で遊ぶ子どもたちの声を聞いた | 2.56 | 2.75 | 107.4 |
| | ⑫仕事が終わった後、趣味や家族との時間を過ごした | 2.29 | 2.17 | 95.0 |
| 地縁・地域 | ⑬地域の問題解決に協力して取り組んだ | 0.94 | 1.06 | 113.1 |
| | ⑭地域のボランティアや行事に参加した | 1.05 | 1.16 | 110.8 |
| 愛着 | ⑮近所の馴染みの店で店主や常連客と盛り上がった | 1.30 | 1.35 | 103.9 |
| | ⑯お気に入りの店で特別な時間を過ごした | 1.52 | 1.61 | 106.1 |
| 活気 | ⑰路上でパフォーマンスや演奏している人を見た | 1.20 | 1.26 | 105.1 |
| | ⑱活気ある街の喧騒を心地よく感じた | 1.16 | 1.39 | 119.6 |
| | ⑲行列のできるお店に並んだ、並んでいる人を見た | 1.86 | 1.82 | 97.6 |
| 食文化 | ⑳まちなかでWEB会議や打ち合わせをした、している人を見た | 0.88 | 0.88 | 99.7 |
| | ㉑庶民的な店で地元の料理やお酒を楽しんだ | 1.51 | 1.72 | 113.6 |
| 食文化 | ㉒朝市やマルシェで地元の食材を買った | 1.29 | 1.31 | 102.0 |
| | 伝統・歴史 | ㉓伝統行事やお祭りに参加した | 1.62 | 1.58 |
| ㉔神社やお寺に参拝した | | 2.10 | 2.08 | 99.3 |
| 興奮・感動 | ㉕プロスポーツを観戦して興奮・感動した | 0.80 | 0.95 | 118.6 |
| | ㉖コンサート・クラブなどのイベントに参加した | 1.00 | 1.08 | 107.1 |
| トレンド | ㉗ミシュランや食ベログで評判の店で食事した | 0.90 | 0.86 | 94.8 |
| | ㉘自分好みの新しいお店や面白そうな場所を見つけた | 1.44 | 1.56 | 108.1 |
| 芸術文化 | ㉙美術館や劇場で名作を鑑賞した | 0.96 | 1.00 | 104.1 |
| | ㉚まちなかでアートや芸術作品を見た | 0.94 | 0.91 | 96.8 |
| 刺激 | ㉛興味のある市民活動やサークル活動に参加した | 0.64 | 0.79 | 122.7 |
| | ㉜刺激的で面白い人達が集まるイベントやパーティーに参加した | 0.72 | 0.83 | 114.7 |
| 交流 | ㉝様々な業種の人と仕事を離れて交流した | 0.69 | 0.89 | 128.3 |
| | ㉞友人や知人に仕事を紹介された、紹介した | 0.70 | 0.83 | 119.6 |
| 自己実現 | ㉟ためになるセミナーや市民講座に参加した | 0.53 | 0.64 | 121.0 |
| | ㊱自治体や企業による脱炭素などの社会課題解決の取組に参加した | 0.57 | 0.68 | 118.6 |
| ウォークアブル | ㊲まちなかで寄り道をしていつもは歩かない道を歩いた | 1.22 | 1.18 | 96.7 |
| | ㊳まちなかのベンチでひと休みした | 1.02 | 1.18 | 115.7 |
| | ㊴まちなかの公園やオープンカフェで飲食をした | 1.06 | 1.20 | 113.3 |
| | ㊵まちなかをシェアサイクルで移動した | 0.55 | 0.60 | 107.7 |
| 働き方 | ㊶カフェやコワーキングスペースで仕事や作業等をした | 0.72 | 0.75 | 104.9 |
| | ㊷テレワークやワーケーションにより仕事をした | 0.72 | 0.73 | 101.0 |
| コンパクト | ㊸地域外の病院まで通院した | 3.16 | 3.01 | 95.2 |
| | ㊹公共交通を使ってまちに出かけた | 1.93 | 1.87 | 96.9 |
| | ㊺車の渋滞で待ち合わせに遅刻した | 3.21 | 2.98 | 92.9 |
| | ㊻日常的な買い物等のために遠出をした | 2.71 | 2.42 | 89.4 |
| 多様性 | ㊼まちなかで小さい子どもを連れている家族を見た | 2.90 | 2.87 | 99.2 |
| | ㊽外国語の案内板を見た | 1.95 | 1.79 | 91.9 |
| 匿名性 | ㊾カフェやバーでひとりの時間を過ごした | 1.06 | 1.13 | 105.7 |
| | ㊿秘密のデートをした | 0.71 | 0.70 | 98.5 |

A1・B：各平均より+50%以上、指数：110.0以上

A1・B：各平均より+25%以上、指数：105.0以上

A1・B：a平均より-50%以下、指数：-90.0以下

A1・B：a平均より-25%以下、指数：-95.0以下

表9 都市圏での経験（項目別スコア）

(注) 各設問について、頻繁にある=5点、たまにある=3点、1~2回はある=1点、ほとんどない=1点により計算。

(マイナス評価の項目は逆の点数で計算。)

④ アンケート分析のまとめ

a. 幸福感に影響を与える都市の要素

- アンケート結果より、岡山都市圏における定住促進のためには、地域での暮らしに対する幸福感を高めることが重要であると考えられる。
- このような幸福感に影響を与える都市圏のイメージとして、「人間関係に恵まれる」「自分らしく暮らせる」「便利で快適な移動ができる」「地域の文化や愛着を感じる」「まちに活気や機会がある」などがある。
- また、幸福感に影響を与える都市圏での経験（アクティビティ）として、「家族や友人との時間を過ごす」「自然に触れる」「まちの景観に親しむ」「歴史や伝統に触れる」「公共交通や徒歩でまちに出かける」「まち歩きを楽しむ」「地元の食や店を楽しむ」「芸術や文化に触れる」「まちの活気を感じる」などがある。

b. 類似都市に対する弱み

- 岡山都市圏は、熊本都市圏に比べ、「地域文化への愛着」や「まちの活気」に弱みがあり、地域活動や興味のある活動への参加など「様々な交流等の機会に参加する」のような経験のスコアが低い。

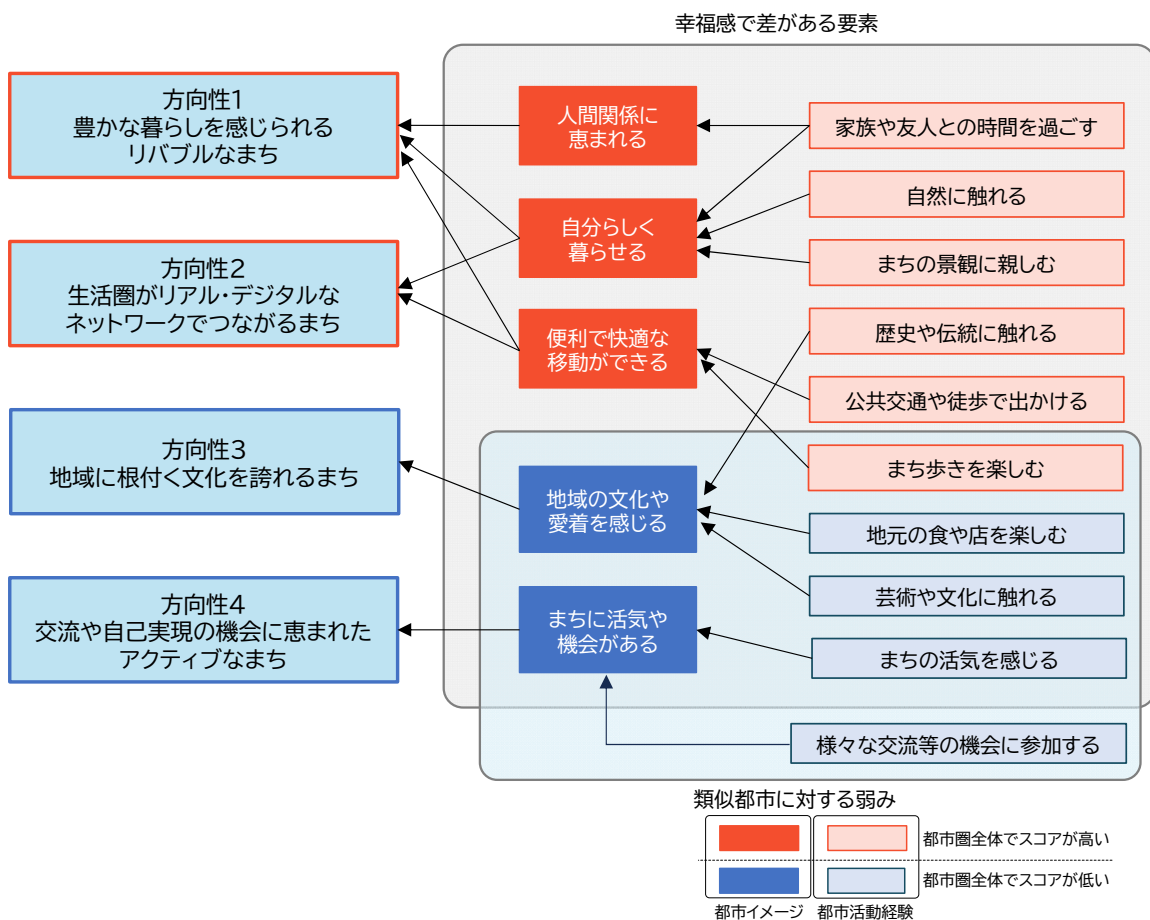


図 39 定住促進のための方向性イメージ

こうした結果を踏まえ、岡山都市圏における定住促進のための方策として、以下のような方向性が考えられる。

a. 岡山都市圏の強みを伸ばす

- 岡山都市圏の強みであり、幸福感に影響を与えていると考えられる、「人間関係に恵まれる」「自分らしく暮らせる」「多様なものが受け入れられる」「生活や移動が便利」といった都市イメージを伸ばし、定住意向を高める。
- そのために、「家族や友人との時間を過ごす」「自然に触れる」「まちの景観に親しむ」「子どもとまちに出かける」「公共交通や徒歩でまちに出かける」「歴史や伝統に触れる」など、評価の比較的高い都市活動の機会をさらに増やしていくための取組が必要と考えられる。

【想定される方向性】

- ① 暮らしの豊かさを感じられるリバブル※なまち
※:「住みやすい」「生き生きと暮らせる」など
- ② 生活圏がリアル・デジタルなネットワークでつながるまち

b. 岡山都市圏の弱みを克服する

- 岡山都市圏の弱みであり、幸福感に影響を与えていると考えられる、「地域の文化や愛着を感じる」「まちに活気や機会がある」といった都市イメージを改善し、定住意向を高める。
- 特に、「まちに活気や機会がある」といった都市イメージは、類似都市として比較した熊本都市圏に対しての弱みともなっている。
- そのために、「地元の食や店を楽しむ」「プロスポーツや芸術に触れる」「まちの活気を感じる」「様々な交流や自己実現の機会に参加する」など、評価の比較的低い都市活動の機会を増やしていくための取組が必要と考えられる。

【想定される方向性】

- ① 地域に根付く文化を誇れるまち
- ② 交流や自己実現の機会に恵まれたアクティブなまち

5. 定住促進のための方策検討

現状分析を踏まえ、岡山都市圏における定住促進のための方向性に沿って、以下のような都市機能及び機能集積のための具体的な取組が考えられる。

【方向性1】豊かな暮らしを感じられるリバブルなまち

- 岡山都市圏は、適度な生活利便性と豊かな自然・環境に恵まれ、良好な人間関係やコミュニティをベースとした、「暮らしやすさ」が評価されている。
- また、コロナ禍以降、職住の混在化が進む中で、岡山市の都心においては、再開発による高層マンションの建設が進み、今後も都心人口の増加が期待されている。
- こうしたことから、岡山市の都心が「暮らせるまちなか」として機能し、リバブルな（住みやすい）まちと感じてもらえる都市圏となるよう、日常生活に豊かさを与える多様なアメニティの集積を図ることが求められ、身近なカルチャーの集積や、豊かな水辺・緑を活かしたグリーンインフラ、職住近接型の住宅、ウォークアブルな都市環境等の整備などに取り組むことが考えられる。

【必要な都市機能】

日常生活に豊かさを与える多様な都市アメニティ

【具体的な取組】

① 飲食・アート・音楽等の身近なカルチャーの集積

家族や友人・知人と、あるいはひとりで過ごす豊かな余暇時間を享受できるように、空き店舗等を活用した個性的な出店者の誘致や飲食店等での起業を目指す人の支援などにより、日常的な暮らしを楽しむコンテンツとして、飲食・アート・音楽をはじめとした、多様で身近なカルチャーの集積を図る。

このため、例えば、公共施設等を活用し、飲食店での起業を目指す人を対象としたフードインキュベーション施設を整備し、民間事業者と連携した運営・起業支援を実施するなどの取組が考えられる。

【取組(例)】

- 公共施設等を活用したフードインキュベーションの推進
- 公共空間等を活用してチャレンジ出店する事業者に対する補助等の支援 など

【実施・検討中の事業】

- 店舗誘致や空き店舗を活用したチャレンジショップ等の設置に対する支援
- 商店街活性化につながるアイデアの実施に対する支援 など

[取組イメージ(事例)]

OSAKA FOOD LAB(大阪市)

- ・ 日本初のフードビジネスインキュベーターとして、2018年8月に阪急電鉄高架下空間に開設された飲食店開業を目指すスタートアップを支援するための施設。
- ・ キッチンスペースの提供、飲食ビジネスの専門家チームによる育成支援、フードマーケットやセミナーの開催を通じた商品販売機会の提供、国内外からの飲食ビジネス関係者との交流機会の提供、といった育成プログラムにより、「食に係る起業家」を目指すスタートアップを支援する。

② 職住近接を可能にする都心居住の推進

都心の多様性を高め、余暇時間を豊かに過ごすことができる生活環境を提供するため、多様な属性を対象とした住宅供給や住宅ストックの流通促進、「暮らせるまちなか」としての都市圏イメージの発信などにより、職住の近接を可能にする都心居住を促進する。

このため、例えば、若者や高齢者、障がい者等の多様な入居者を想定した賃貸住宅を供給する市街地再開発事業等に対して、補助率の嵩上げ等の支援を実施するなどの取組が考えられる。

[取組(例)]

- 多様な住宅供給を含む開発事業への支援の拡充
- 中古住宅の取得に対する補助等の支援
- 「都心型お試し居住」の実施
- 「暮らせるまちなか」をPRする情報発信ツールの製作・普及 など

[実施・検討中の事業]

- 空き家情報バンク制度等を活用した情報発信やマッチングの促進
- セーフティネット住宅やサービス付き高齢者向け住宅の普及促進 など

[取組イメージ(事例)]

ワテラス(東京都千代田区)

- ・ 2013年4月にオープンした複合施設「ワテラス」において、施設内に学生専用マンション「ワテラススチューデントハウス」を整備。
- ・ 相場よりも安い賃料を設定する一方で、入居条件として、地元の祭り等への参加や地域情報誌の編集、季節イベントの企画・運営への参加など、地域活動・ボランティアへの参加を義務付けている。

③ グリーンインフラの整備

緑地等の自然環境は、気候変動に適応した持続可能なまちづくりが求められる中で重要な役割を担うとともに、まちの居心地の良さや健康増進にもつながることから、公共空間や民間敷地の緑化などにより、都心の自然環境が有する多様な機能を活用する「グリーンインフラ」の整備を推進する。

このため、例えば、植栽とベンチが一体化したストリートファニチャー（グリーンファニチャー）やプランター植栽をメインストリート沿道に設置し、市民の協賛や沿道オーナーの管理等による持続可能な維持管理体制を構築するなどの取組が考えられる。

[取組(例)]

- | | |
|--|----|
| <ul style="list-style-type: none"> ▶ 街路空間へのグリーンファニチャー等の設置と維持管理の仕組みづくり ▶ 市民緑地の認定による緑地やオープンスペースの確保 | など |
|--|----|

[実施・検討中の事業]

- | | |
|---|----|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 道路や公共施設等における緑化の推進 ● 緑化協定や開発協議による民間敷地の緑化支援 ● 西川緑道や旭川の水辺空間の利活用の推進 | など |
|---|----|

[取組イメージ(事例)]

OMIYA STREETPLANTS PROJECT(埼玉県さいたま市)

- ・ 大宮駅周辺の街路に可動式植栽を配置し、緑豊かなストリートを形成するとともに、ベンチ等を組み合わせた居心地の良いパブリックスペースを創出し、街路空間の回遊性・滞在性の向上を目指す取組。
- ・ 沿道オーナー等による植栽の維持管理、県内の植木生産者による植栽提供、街路植栽の協賛・販売を行う「流通型都市緑化」により、緑化マネジメントの仕組みを運用している。

④ 人中心でウォーカブルな都市環境整備

暮らしやすさが実感できる、歩いて楽しいまちとなるように、公園や広場、歩行者空間等の都市空間整備や、これを補完するサステイナブルな都市型モビリティの充実などにより、人中心でウォーカブルな都市環境を整備する。

このため、例えば、中心市街地への車の流入抑制や平面駐車場の削減のため、縁辺部に駐車場を整備し、買い物割引サービスや公共交通の利用料金割引などのインセンティブを与える制度を導入するなどの取組が考えられる。

[取組(例)]

- ▶ フリンジパーキングの推進
- ▶ メインストリート等におけるパークレット※の整備
- ▶ 電動キックボードなど歩行者を支援する新たなシェアモビリティの導入 など

※車道の一部を転用して作られた歩行者の為の空間

[実施・検討中の事業]

- ハレまち通りの活用に向けた組織やルールづくり
- 路面電車のネットワーク化に向けた取組の推進
- コミュニティサイクル「ももちやり」の利用促進や自転車走行空間の整備 など

[取組イメージ(事例)]

フリンジパーキング(福岡市)

- ・ 交通混雑緩和のため、博多駅地区・天神地区の2か所で、博多や天神に行く人を対象に周辺部の駐車場料金を12時間まで最大500円に割引する「フリンジパーキング」を実施。
- ・ 天神地区では、駐車料金の割引に加え、公共交通(バス・地下鉄)の片道無料のサービスも実施している。

方向性2 生活圏がリアル・デジタルなネットワークでつながるまち

- 岡山都市圏は、コンパクトさや生活の便利さがある程度評価されている一方で、公共交通の利用しやすさについては不便とする声が多い。
- 岡山都市圏は、人口約 90 万人の通勤交流圏により形成されているが、都市圏への定住促進を図る上では、拠点都市である岡山市が人口のダム効果を発揮し、今後も通勤交流圏を維持していくことが重要である。
- このためには、都市圏の強みであるコンパクトさや生活の便利さを、都市圏内の誰もが享受できるようなシームレスなネットワーク形成が求められ、公共交通ネットワークの強化やデジタルインフラの整備などに取り組むことが考えられる。

【必要な都市機能】

都市圏内をシームレスにつなげるネットワーク

【具体的な取組】**① 郊外とまちなかをつなぐ公共交通ネットワークの強化**

都市圏のコンパクトさや生活の便利さをより発揮するためには、都市圏内、特に郊外からまちなかへの移動の利便性を高めることが重要であると考えられることから、最適な交通手段による移動をサポートする仕組みづくりや、鉄道・バスの利用環境改善、郊外における 2 次交通の確保などにより、郊外とまちなかをつなぐ公共交通ネットワークの強化を図る。

このため、例えば、都市圏内の交通事業者の運行データ等を統合的に管理・可視化し、周辺施設の情報等とあわせて利用者への案内を行う MaaS システムを構築するなどの取組が考えられる。

[取組(例)]

- | | |
|---|----|
| <ul style="list-style-type: none"> ➢ 最適な交通手段による移動をサポートする岡山都市圏 MaaS の導入 ➢ 自動運転等の活用による郊外でのグリーンスローモビリティの導入 | など |
|---|----|

[実施・検討中の事業]

- | | |
|---|----|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 桃太郎線 LRT 化や交通結節点強化等による鉄道利用環境の改善 ● バスロケーションシステム等の案内情報の充実等によるバス利用環境の改善 ● コミュニティバス等の運行支援 | など |
|---|----|

[取組イメージ(事例)]

MaaS アプリ「Oh MY Map!」(東京都千代田区)

- ・ エリア内の施設情報やイベント情報、地下鉄・バス・シェアサイクルなどの利用情報などのデータを統合し、就業者・来街者が1つのアプリ上で確認できることをコンセプトに開発されたサービス。
- ・ ユーザーの徒歩圏(目的地または現在地から約800m圏：ラストハーフマイルエリア)での利便性の向上を図り、エリア内の回遊性向上や都市活動・滞在を促進する。

② 居住地での快適な暮らしを支えるデジタルインフラの整備

高齢化が進む中でも、居住地での快適な暮らしが続けられるためには、物理的な時間・距離のハードルを下げる ICT の活用が有効と考えられることから、デジタルデバイスを活用した生活支援や ICT の活用を可能とするデータ活用基盤の構築など、地域課題の解決を可能にするデジタルインフラの整備を図る。

このため、例えば、ウェアラブル機器等を活用し、高齢者の生活習慣等のデータ収集や AI による健康管理を行う、健康生活支援システムを構築するなどの取組が考えられる。

[取組(例)]

- ウェアラブル機器やデジタルデバイスを活用した生活支援
- ドローンを活用した日用品や医薬品、災害時の物資供給などの仕組みづくり
- 都市 OS[※]等の整備によるデータ活用基盤の構築 など

※交通機関、医療、教育といった分野をまたがったあらゆるデータを集積・分析し、自治体や企業が横断的に活用するためのプラットフォーム

[実施・検討中の事業]

- 行政手続き等のオンライン化、キャッシュレス化の推進
- 行政保有データのオープンデータ化とデータ活用の推進 など

[取組イメージ(事例)]

ウェアラブル端末を活用した高齢者の生活習慣ケア(広島県神石高原町)

- ・ スマホなどから収集したデータをもとに、AI による血圧上昇リスクやフレイルリスクが高い生活習慣の推定や、地域医療情報連携ネットワークと連携してオンライン相談など的高齢者の生活習慣ケアを行うシステム構築に関する実証実験を実施。

方向性3 地域に根付く文化を誇れるまち

- 岡山都市圏には、岡山城や岡山後楽園をはじめとした歴史資源、新たな岡山文化の発信拠点として2023年にオープンした岡山芸術創造劇場「ハレノワ」など、歴史・文化に触れることのできる機会が多くある一方で、こうした地域文化が都市圏としての評価に必ずしもつながっていない。
- 地域の伝統や文化に愛着を持つことは、シビックプライドの醸成につながるとともに、暮らしの幸福感を高めることにもつながると考えられることから、定住促進を図る上で重要である。
- こうしたことから、岡山都市圏が、地域に根付く文化を誇れるまちとなるように、シビックプライドを高めるような文化機能の強化が求められ、既存の歴史資源を活用した地域文化の発信や、アート・演劇・スポーツなど多様なジャンルの文化の創造などに取り組むことが考えられる。

【必要な都市機能】

シビックプライドを高める文化機能

【具体的な取組】**① 多様な歴史資源を活用した地域文化の発信**

観光資源としての活用はもとより、住民が日常的に地域の歴史や文化に親しむ機会の創出を図るため、既存の歴史資源の市民活動での活用やメタバース等を活用した情報発信などにより、歴史資源の魅力を向上し、地域文化として発信する。

このため、例えば、神社などの歴史資源において朝市やマルシェ等を定期的で開催するなどの取組が考えられる。

[取組(例)]

- 神社などの歴史資源の市民活動での活用促進
- メタバースによる歴史文化ゾーンの再現と市民・地元企業によるコンテンツ提供など

[実施・検討中の事業]

- 岡山城の保存整備など歴史資源の魅力向上を図る事業の推進
- 岡山城と岡山後楽園のさらなる魅力向上に向けた各種連携イベントの開催や情報発信
- 岡山らしさを味わえるまつりや滞在を促すイベントの充実等を通じた岡山の魅力の発信など

[取組イメージ(事例)]

空鞆ファーマーズマーケット(広島市)

- ・ 広島県内の農家の応援を行っている「Farmer's Collection」が主催し、広島市内の神社(空鞆稲生神社)で、地元農家が出店するファーマーズマーケットを毎月開催。
- ・ 神社という地域の人が集まる場所を使い、生産者と消費者のつながる場を作るとともに、地域貢献や地域活性化につながることを目指している。

② アート・演劇・スポーツなど多様なジャンルの地域文化の創造

住民が地域文化に誇りを持つためには、地域文化のすそ野を広げ、住民の関わり代をつくることが重要と考えられることから、ハレノワなどの文化芸術施設のまち全体での活用やパブリックアートの設置・活用などにより、住民が文化芸術やプロスポーツに日常的に触れる機会の創出を図り、多様なジャンルの地域文化を創造する。

このため、例えば、空き店舗等を活用し、アーティストが公開制作を行うスタジオの整備等によるアーティストの育成や、ハレノワのエントランスにある千日前スクエアを活用した、地元飲食店等の出店によるマルシェの定期開催などの取組が考えられる。

[取組(例)]

- 空き店舗等を活用したアーティストの創作と展示の場づくり
- 千日前スクエアや周辺道路を活用したイベント等の定期的な開催
- パブリックアートの設置促進やガイドマップなどの広報ツールの配布 など

[実施・検討中の事業]

- プロスポーツ等に触れる機会を創出する新アリーナの整備
- 美術館等の連携による情報発信や魅力向上
- 「おかやま国際音楽祭」「岡山市芸術祭」など文化に触れる機会の創出 など

[取組イメージ(事例)]

有楽町アートアーバニズム「YAU」(東京都千代田区)

- ・ アートの制作過程をまちなかで公開することで、クリエイティブな人の交流やイノベーション創発を誘発するなど、アーティストへの持続的な支援を行うプログラム。
- ・ オフィスビルのフロアにアーティストが滞在制作を行う「YAU STUDIO」、地下飲食街の一角にプログラムのインフォメーションセンターと若手アーティストに向けた相談所を「YAU COUNTER」を設置し、オフィスワーカーが、まちとアートについて学びを深めるスクールプログラム「YAU CLASS」を開催。

SANCHA HAVE A GOOD MARKET!!!(東京都世田谷区)

- ・ コワーキングスペースなどを企画、運営する三茶ワークカンパニー株式会社と世田谷区が共催し、太子堂出張所に隣接する多目的広場とその沿道で、地域の農家や植木、飲食店等が出店するマーケットを定期的を開催。
- ・ 国士舘大学と連携し、会場内や会場外の通りへのアートファニーチャーの設置による居心地の良いスペース作りにも取り組んでいる。

方向性4 交流や自己実現の機会に恵まれたアクティブなまち

- 岡山都市圏は、同規模の類似都市である熊本市を核とした熊本都市圏と比べ、多様な交流の機会が不足しており、まちのにぎわいや産業などの活気に対する評価が低い。
- 熊本都市圏では大規模な企業立地等により人口が流入している側面はあるものの、都市としての魅力という点では、こうした点は岡山都市圏の弱みになっていると言え、特に若い世代を中心としたより多くの人に選ばれるまちとなるためには、方向性1～3で示すような居住者の幸福感を高める取組と合わせ、まちのにぎわいや産業などの活気を創出していく取組も必要と考えられる。
- こうしたことから、多様な交流や自己実現の機会に恵まれたアクティブなまちとなるよう、都市としての価値を高め、多様性を育む交流機能の強化が求められ、日常的なまちのにぎわいづくりやローカルベンチャーの育成などに取り組むことが考えられる。

【必要な都市機能】

にぎわいやイノベーションを生む交流機能

【具体的な取組】

① 日常的なにぎわいを生むまちづくりの促進

まちの活気を創出するためには、いつ訪れても新しい発見や楽しさがあることが重要と考えられることから、公共空間を活用した市民参加型のにぎわいづくりの促進やナイトタイムの活用、にぎわいづくりのための活動を先導するエリアマネジメント団体等の支援などにより、日常的なにぎわいを創出するまちづくりを促進する。

このため、例えば、ストリートパフォーマンス等を自由に行うことができる公共空間を設定し、利用の仕組みづくりを推進するなどの取組が考えられる。

[取組(例)]

- ストリートパフォーマンスができる公共空間利用の仕組みづくり
- ナイトタイムを活用した集客イベントやライトアップ等に対する補助金等の支援
- にぎわいづくりに取り組むエリアマネジメント団体への支援 など

[実施・検討中の事業]

- 西川緑道公園の特色をいかした定期的なイベントの開催等によるにぎわいづくり
- 西川緑道公園におけるパークマネジメントの導入
- 旭川かわまちづくりの推進 など

[取組イメージ(事例)]

まち劇スポット(静岡市)

- ・ 大道芸や演劇、音楽、伝統芸能など様々なジャンルの芸術文化を通じて、「まち」と「ひと」を結び「こと(催し)」を生み出す機会を創出するため、「まち劇スポット」を中心市街地の公共空間等 10 か所に設置。市の認定を受けたパフォーマーが無料で使用できる。

② イノベーションを生む産学官共創のまちづくりの促進

まちや産業の活気向上のためには、若者が地域との関わりを持ち、活躍できることが重要であると考えられることから、大学と地域・企業の共創の場づくりや起業・スタートアップの支援などにより、市内に複数の大学が立地する岡山市の強みを生かした、若者を中心としたイノベーションを創出するまちづくりを促進する。

このため、例えば、行政・大学・企業の連携により総合的なまちづくりに取り組むアーバンデザインセンターを設置するなどの取組が考えられる。

[取組(例)]

- 産学官連携で地域課題解決等に取り組むプラットフォームの構築
- 学生や社会人が共同生活しながら学ぶレジデンシャル・カレッジの整備 など

[実施・検討中の事業]

- ももたろう・スタートアップカフェの活動促進
- 創業に要する経費に対する補助 など

[取組イメージ(事例)]

アーバンデザインセンターすみだ(東京都墨田区)

- ・ 墨田区が掲げる「大学のあるまちづくり」を一層強力に推進するために設立された、公民学が連携するためのプラットフォーム。
- ・ 地域と大学の交流広場「キャンパスコモン」の整備や、空き家を学生の共同住宅に改修するプロジェクトなど、大学の知見を活かした地域課題の解決に取り組む。

SHIMOKITA COLLEGE(東京都世田谷区)

- ・ 海外の大学や高校の学寮を参考に設計された、日本発のレジデンシャル・カレッジ。多様な背景を持つ居住者(高校生・大学生・若手社会人)が互いの経験を持ち寄り、ともに暮らしながら自身の学びを深めている。